



ITA_利用手順マニュアル

メニュー作成機能

—第1.10版—

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・ LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。
- ・ Terraformは、HashiCorpの登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

目次

はじめに	3
1 メニュー作成機能の概要	4
2 メニュー作成機能の主要機能	7
3 メニュー作成機能のメニューグループ	8
4 メニュー(パラメータシート/データシート)説明	10
5 「メニュー定義・作成」メニューの操作説明	13
5.1 (A) 項目・グループ・リピートの設定	13
5.2 (B) 「メニュー作成情報」タブ	18
5.3 (C) メニュー作成実行	24
5.4 メニュー作成受付後の「メニュー定義・作成」メニューの使い方	25
5.5 「メニュー定義一覧」メニューでメニューを確認	29
5.6 「メニュー作成履歴」メニューで作成状況の確認	32
5.7 作成されたメニューの確認	33
6 「メニュー作成」メニューグループのインストール時非表示メニュー	47
6.1 「カラムグループ管理」メニューでカラムグループを登録	47
6.2 「メニュー項目作成情報」メニューで設定する項目を登録	49
6.3 「メニュー(縦)作成情報」メニューで縦型登録	53
6.4 「一意制約(複数項目)作成情報」メニューで一意制約(複数項目)を登録	55
6.5 「メニュー作成実行」メニューでパラメータシート/データシートを作成	57
7 運用操作	59
7.1 メンテナンス	59
7.2 ログレベルの変更	60
8 付録	61
8.1 PHP ファイルの配置	61
8.2 メニュー・テーブル紐付	62
8.3 他メニュー連携	63
8.4 メニュー縦横変換管理	64
8.5 選択 1	65
8.6 選択 2	66
8.7 「プルダウン選択」の「選択項目」で利用できる対象について	67
8.8 「プルダウン選択」利用時の「参照項目」について	68
8.9 参照項目情報	70
8.10 縦メニュー利用時のリピート対象外の項目について	71
8.11 入力方式「パラメータシート参照」について	72
8.12 「参照項目」「パラメータシート参照」を用いたメニューのプルダウン検索について	74
8.13 「文字列(複数行)」の項目を「プルダウン選択」にした際のリンクについて	77
8.14 Excel ファイルアップロードによるメニュー作成について	78

はじめに

本書では、ITA メニュー作成（以降、メニュー作成）システムの機能および操作方法について説明します。

1 メニュー作成機能の概要

メニュー作成機能は、ITA 上で操作可能なメニューを作成する機能です。

作成するメニューの種類として、「パラメータシート」と「データシート」があります。

作成したメニュー（パラメータシート/データシート）は、他のメニューと同様に Web、Excel、RestAPI から操作が可能です。

メニュー（パラメータシート/データシート）の項目数や形式・サイズ・入力制限はメニュー作成機能で自由に設計することが可能です。

1. パラメータシート

➤ laC の変数値を管理

- ◇ 各ドライバの「代入値自動登録設定」メニューで設定可能なパラメータシートの作成が可能です。
- ◇ 「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー定義・作成」メニュー>「メニュー作成情報」タブ>「基本情報」枠>「作成対象」項目にて、「パラメータシート(オペレーションあり)」および「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択し作成したメニューをパラメータシートと呼びます。
- ◇ 各ドライバの「代入値自動登録設定」メニューにて、対象となるパラメータシートと laC 変数を設定しておくことで、パラメータシートの「パラメータ」項目に入力された値を laC 変数に自動で代入することが可能です。

➤ オペレーションあり

パラメータシートが「オペレーション」単位で作成されます。

➤ ホスト/オペレーションあり

パラメータシートが「ホスト」と「オペレーション」単位で作成されます。

➤ ホストグループ利用

「ホストグループ機能」との連携で、ホストグループに対しての laC 変数値の管理が可能です。

➤ 縦メニュー利用

同一項目を繰り返すパラメータ設定を行う場合、視認性をよくする縦メニューの利用が可能です。

2. データシート

➤ ITA 内でデータの管理

- ◇ 自由に項目を作成できるデータシートの作成が可能です。データシートは各ドライバの「代入値自動登録設定」メニューでは利用できません。
- ◇ CMDDB(Configuration Management Database、構成管理データベース)として、ITA 上で情報を管理する場合に利用できます。
- ◇ 他のメニューからプルダウンで選択する項目の参照元として利用することで、文言の揺れなどを防ぐことが可能です。

例) パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)



図 1-1 パラメータシート

例) データシート



図 1-2 データシート

例)「参照するプルダウン」としてデータシートを利用する方法

入力値をプルダウン形式で選択できることで、手打ち入力による文言の揺れを防ぐことが可能です。

・「参照するプルダウン」としてデータシートを作成します。



図 1-3 参照元となるデータシート

・入力方式に「プルダウン選択」を指定しメニュー(パラメータシート/データシート)を作成します。



図 1-4 データシートの登録値をプルダウンメニューで参照するパラメータシート

2 メニュー作成機能の主要機能

メニュー作成機能の主要機能は次のカテゴリーに分類されます。

- Web
Web コンテンツ。ブラウザで提供されるメニュー作成機能を使用できる画面。
- BackYard
Web コンテンツとは独立してサーバ上で動作する常駐プロセス。

3 メニュー作成機能のメニューグループ

「メニュー作成」メニューグループと、それに所属するメニューは以下となります。

- 「メニュー定義・作成」メニューでメニュー（パラメータシート/データシート）を作成する場合、「メニュー定義一覧」「カラムグループ管理」「メニュー項目作成情報」「メニュー(縦)作成情報」の各メニューへデータが自動で登録されるため、各メニュー内でデータを作成する必要はありません。
また、自動でメニュー（パラメータシート/データシート）が作成されるため「メニュー作成実行」メニューで作成実行する必要もありません。
- 非表示になっているメニューを使用したい場合は、「ロール・メニュー紐付管理」で対象のメニューを復活させてください。
(復活/廃止の手順は「Exastro-ITA_利用手順マニュアル_管理コンソール」を参照してください。)

表 3-1 「メニュー作成」メニューグループに所属するメニュー

メニューグループ	所属するメニュー	段落	説明
メニュー作成	メニュー定義・作成	5.1~5.4	パラメータシートまたはデータシートとそれに紐づく項目を作成することが可能です。 パラメータシートまたはデータシートの更新も可能です。
	メニュー定義一覧	5.5	作成するパラメータシートまたはデータシートをメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。
	メニュー作成履歴	5.6	メニュー作成の状態を確認できます。
	カラムグループ管理	6.1	作成するパラメータシートまたはデータシートのカラムグループをメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	メニュー項目作成情報	6.2	作成するパラメータシートまたはデータシートで管理する項目をメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	メニュー(縦)作成情報	6.3	作成するパラメータシートまたはデータシートのメニュー名、開始項目名を選択し縦管理表示の項目数、繰り返し数を指定できます。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	一意制約(複数項目)	6.4	作成するパラメータシートまたはデータシートの一意制約(複数項目)をメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	メニュー作成実行	6.5	「メニュー作成情報」で指定したメニューグループにパラメータシートまたはデータシートを作成します。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	メニュー・テーブル紐付	8.2	作成したメニューとDBのテーブルの紐付けを表示します。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	他メニュー連携	8.3	作成したメニューのメニューグループ、メニュー、項目、DBのテーブルの紐付けを表示します。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	メニュー縦横変換管理	8.4	作成した縦メニューから横変換されるメニューの紐付けを表示します。 ※インストール時は非表示のメニューです。
	選択 1	8.5	プルダウン選択で使用する項目を管理するメニューです。(1 択用) ※インストール時は非表示のメニューです。
選択 2	8.6	プルダウン選択で使用する項目を管理するメニューです。(2 択用)	

			※インストール時は非表示のメニューです。
	参照項目情報	8.9	参照項目として利用可能な項目を表示します。 ※インストール時は非表示のメニューです。

※「メニュー定義・作成」メニューではメニュー(パラメータシート/データシート)を1件ずつメンテナンス可能ですが、一度に複数のメニュー(パラメータシート/データシート)をメンテナンスしたい場合、「メニュー作成」メニューグループの各メニューからエクセルを使用し一括でメンテナンスすることが可能です。

4 メニュー（パラメータシート/データシート）説明

■ 作成するシートの分類

メニュー作成する際、「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー定義・作成」メニュー>「メニュー作成情報」タブ>「作成対象」欄にて、「パラメータシート」を選択してメニュー作成を実行すると、各ドライバの「代入値自動登録設定」メニューで項目の設定が可能なメニュー（**パラメータシート**）が作成されます。

「データシート」を選択してメニュー作成を実行すると、「代入値自動登録設定」メニューでは利用できないメニュー（**データシート**）が作成されます。



図 4-1 「作成対象」欄

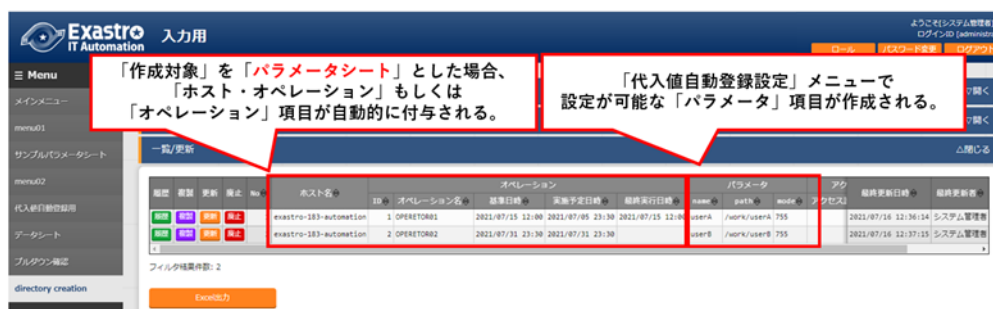


図 4-2 「作成対象」欄で「パラメータシート」を選択し作成されたメニュー（パラメータシート）



図 4-3 「作成対象」欄で「データシート」を選択し作成されたメニュー（データシート）

パラメータシートとデータシートの比較

作成対象の選択値	代入値自動登録設定	メニュー項目	ホスト/オペレーションとの関係
パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	設定可能	「ホスト名」と「オペレーション」の項目が自動的に付与される。 その他の項目は自由に作成可能。	特定の「ホスト・オペレーション」に紐付く
パラメータシート (オペレーションあり)	設定可能	「オペレーション」の項目が自動的に付与される。 その他の項目は自由に作成可能。	特定の「オペレーション」に紐付く
データシート	設定不可	すべての項目を自由に作成可能。	「ホスト」や「オペレーション」に紐付かない

表 4-1 メニュー(パラメータシート/データシート)の比較

※データシートは、他のメニューからプルダウンで選択する項目の参照元としての利用や、CMDB (Configuration Management Database、構成管理データベース)として ITA 上でデータを一元管理する等の利用を想定しています。

■ 作成するメニューの作成パターン

メニュー作成機能で作成できるメニュー(パラメータシート/データシート)の作成パターンは合計5つです。

- ① パラメータシート選択 & 「ホストグループ」利用あり & 「縦メニュー」利用あり
- ② パラメータシート選択 & 「ホストグループ」利用あり
- ③ パラメータシート選択 & 「縦メニュー」利用あり
- ④ パラメータシート選択
- ⑤ データシート選択

パラメータシートを選択した場合、メニューグループ3つに対してメニュー(パラメータシート)が作成されます。

- A) 入力用
- B) 代入値自動登録用
- C) 参照用

データシートを選択した場合、メニューグループ1つに対してメニュー(データシート)が作成されます。

- A) 入力用

メニュー(パラメータシート/データシート)のメンテナンス(登録/更新/廃止/復活)操作が行えるのは「A) 入力用」メニューグループのみであり、その他のメニューグループではメンテナンス(登録/更新/廃止/復活)操作が行えません。

パラメータシート	メニューグループ		
	A) 入力用	B) 代入値自動登録用	C) 参照用
① ホストグループ：○ 縦メニュー：○	A) 入力用	B) 代入値自動登録用	C) 参照用
② ホストグループ：○ 縦メニュー：-	A) 入力用	B) 代入値自動登録用	C) 参照用
③ ホストグループ：- 縦メニュー：○	A) 入力用	B) 代入値自動登録用	C) 参照用
④ ホストグループ：- 縦メニュー：-	A) 入力用	B) 代入値自動登録用	C) 参照用
⑤ データシート	A) 入力用		

図 4-4 メニュー作成パターン

・ホストグループ利用

作業対象ホストを、ホストグループ機能を利用してグルーピングする場合、ホストグループの利用を推奨します。ホストグループ機能については、「利用手順マニュアル_ホストグループ機能」を参照してください。

・縦メニュー利用

例えば hosts ファイルの「IP アドレス」+「ドメイン」のように同じ項目を繰り返して定義する場合、視認性をよくするため縦メニュー利用を推奨します。カーネルパラメータのように同じ項目数を繰り返して定義しない場合は、縦メニューを利用せず、通常メニューの利用を推奨します。

例) 「通常メニュー」と「縦メニュー」それぞれで「IPアドレス」+「ドメイン」のパラメータシートを作成した場合

通常メニュー		縦メニュー	
IPアドレス	ドメイン	IPアドレス	ドメイン
11.11.11.11	test1.com	11.11.11.11	test1.com
22.22.22.22	test2.com	22.22.22.22	test2.com
33.33.33.33	test3.com	33.33.33.33	test3.com
44.44.44.44	test4.com	44.44.44.44	test4.com

図 4-5 「通常メニュー」と「縦メニュー」の比較

5 「メニュー定義・作成」メニューの操作説明

「メニュー作成」メニューグループの「メニュー定義・作成」メニューでは、メニュー（パラメータシート/データシート）の作成と項目の設定が同時に行えます。

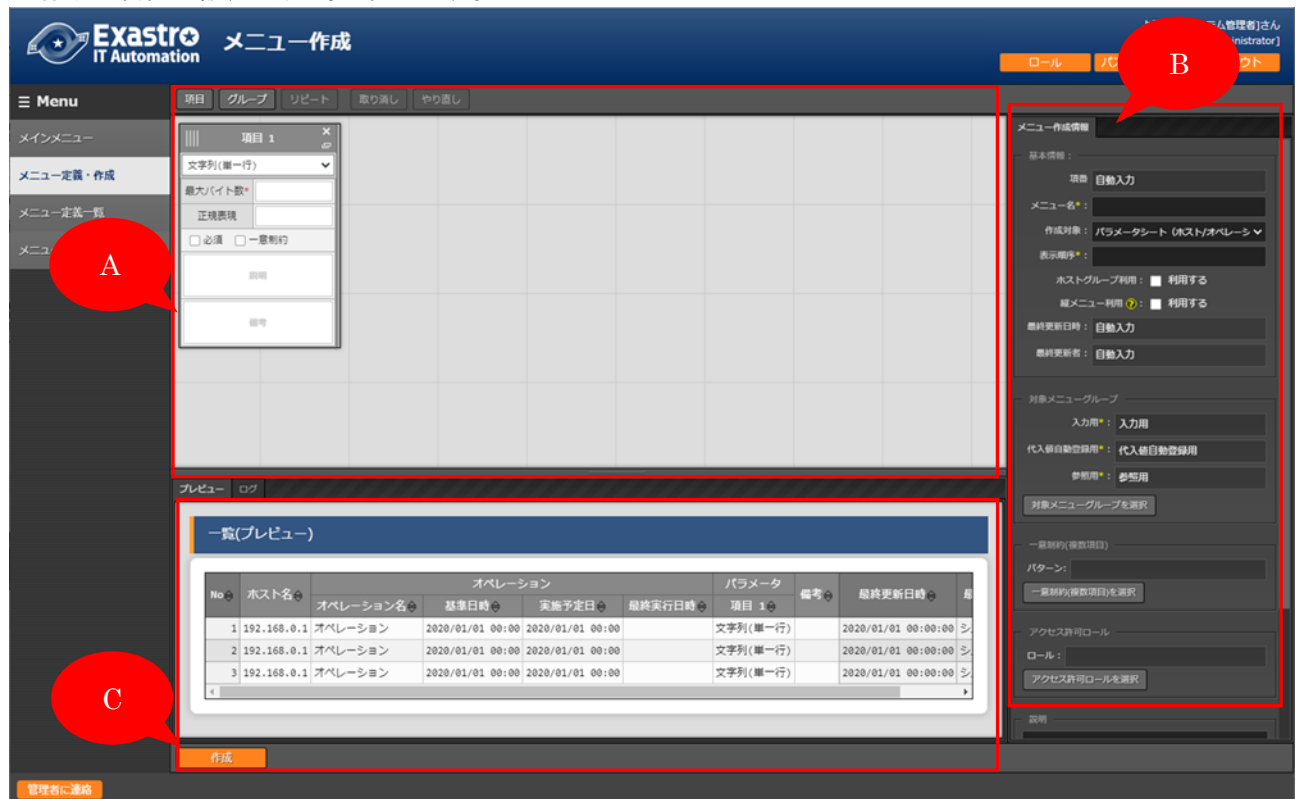


図 5-1 「メニュー定義・作成」メニュー

5.1 (A) 項目・グループ・リピートの設定

・メニュー（パラメータシート/データシート）に設定する項目を作成します。

・「項目」ボタン

「項目」ボタンを押下すると項目が出力され設定できるようになります。プルダウンメニューから入力方式を選択し、必須項目を入力するとメニュー（パラメータシート/データシート）に項目として追加することが可能です。



図 5.1-1 項目作成

表 5.1-1 項目の設定値

設定箇所		説明
項目名 (初期値は「項目 1」)		<p>項目の名称を入力します。</p> <p>※項目名に「/」は使用禁止です。</p> <p>※「リピート枠内で使用した名称[数字]」は、リピート枠外の項目名には使用できません。</p>
必須		必須項目にする場合は、チェックボックスを選択します。
一意制約		一意制約項目にする場合は、チェックボックスを選択します。
入力方式 (プルダウンメニュー)		<p>入力方式をプルダウンメニューの「文字列(単一行)」、「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」、「パスワード」、「ファイルアップロード」、「リンク」のいずれかから選択します。</p> <p>「文字列(単一行)」を選択した場合、単一行のみ入力可能なテキストボックスの項目になります。</p> <p>「文字列(複数行)」を選択した場合、複数行が入力可能なテキストボックスの項目になります。</p> <p>「整数」を選択した場合、整数であることのチェックが行われるテキストボックスの項目になります。</p> <p>「小数」を選択した場合、小数であることのチェックが行われるテキストボックスの項目になります。</p> <p>「日時」と「日付」を選択した場合、カレンダー選択の項目になります。</p> <p>「プルダウン選択」を選択した場合、プルダウンの項目になります。データを登録した際に値がリンクとなり、クリックで元データが登録されているメニューへ遷移できます。遷移後に表示フィルタの検索条件にデータが設定されて検索されますが、検索文字列は先頭から最大 1024 バイトとなります。(「文字列(複数行)」の項目をプルダウン選択にした際のリンクの挙動が変わります。「8.13「文字列(複数行)」の項目を「プルダウン選択」にした際のリンクについて」に詳細を記載しています。)</p> <p>また「参照項目を選択」ボタンから、「プルダウン選択」で選んだレコードと同じ行のレコードを横並びで表示させることができます。</p> <p>「パスワード」を選択した場合、入力中の文字列が「●」で隠された状態のテキストボックスの項目になります。(枠内の瞳のアイコンを押下している間のみ、入力した文字列が表示されます。)</p> <p>「ファイルアップロード」を選択した場合、ファイルを参照し選択できるボタンと「事前アップロード」ボタンのある項目になり、ファイルをアップロードすることが可能になります。</p> <p>「リンク」を選択した場合、入力した URL がリンク表示になるテキストボックスの項目になります。</p> <p>「パラメータシート参照」を選択した場合、作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成したメニューの項目を選択し、データを登録した際にオペレーションが一致する項目のレコードが参照されます。また、「パラメータシート参照」は作成対象「データシート」では利用できません。「8.11 入力方式「パラメータシート参照」について」に詳細を記載しています。</p> <p>※代入値自動登録設定の連携対象項目は「文字列(単一行)」、「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「パスワード」、「リンク」になります。</p> <p>「日時」、「日付」、「ファイルアップロード」は連携しません。「プルダウン選択」で選ぶ項目が「日時」、「日付」の場合も連携しません。</p>
文字列 (単一行)	最大 バイト数	<p>最大バイト数を入力します。</p> <p>最大は 8192 バイトです。</p> <p>半角英数字なら文字数分となります。</p> <p>全角文字ならば文字数×3+2 バイト必要になります。</p> <p>「入力方式」が「文字列(単一行)」の場合、入力必須です。</p>
	正規 表現	<p>正規表現による入力値チェックを行う場合は、正規表現を入力します。</p> <p>例:0 バイト以上の半角数値項目の場合: /^[0-9]*\$/</p> <p>1 バイト以上の半角英数字の場合: /^[a-zA-Z0-9]+\$/</p>
	初期値	<p>作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。</p> <p>項目に設定した「最大バイト数」を超える値、「正規表現」に不一致な値は入力できません。</p> <p>また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。</p>

設定箇所		説明
文字列 (複数行)	最大 バイト数	最大バイト数を入力します。 最大は 8192 バイトです。 半角英数字なら文字数分となります。 全角文字ならば文字数×3+2 バイト必要になります。 「入力方式」が「文字列(複数行)」の場合、入力必須です。
	正規 表現	正規表現による入力値チェックを行う場合は、正規表現を入力します。 例: 0 バイト以上の半角数値項目の場合: /^[0-9]*\$/ 1 バイト以上の半角英数字の場合: /^[a-zA-Z0-9]+\$/
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。 項目に設定した「最大バイト数」を超える値、「正規表現」に不一致な値は入力できません。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
整数	最小値	最小値を入力します。 -2147483648～2147483647 の整数数値が入力できます。 未入力の場合は-2147483648 になります。 最小値は最大値より小さい数値を入力してください。
	最大値	最大値を入力します。 -2147483648～2147483647 の整数数値が入力できます。 未入力の場合は 2147483647 になります。 最大値は最小値より大きい数値を入力してください。
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。 項目に設定した「最小値」を下回る値、「最大値」を上回る値は入力できません。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
小数	最小値	最小値を入力します。 -9999999999999999～9999999999999999、整数・小数合計 14 桁以下の小数数値が入力できます。 未入力の場合は-9999999999999999 になります。 最小値は最大値より小さい数値を入力してください。
	最大値	最大値を入力します。 -9999999999999999～9999999999999999、整数・小数合計 14 桁以下の小数数値が入力できます。 未入力の場合は 9999999999999999 になります。 最大値は最小値より大きい数値を入力してください。
	桁数	整数・小数の合計桁数上限を入力します。 例: 0.123 は 4 桁 (整数 1 桁、小数 3 桁) 11.1111 は 6 桁 (整数 2 桁、小数 4 桁) 1～14 の整数数値が入力できます。 未入力の場合は 14 になります。
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。 項目に設定した「最小値」を下回る値、「最大値」を上回る値、「桁数」を超える値は入力できません。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
プルダウン 選択	選択 項目	作成したメニュー(パラメータシート/データシート)から参照する対象をプルダウンから選択します。 「選択項目」欄の文字列は「メニューグループ:メニュー:項目」の構成です。 「入力方式」が「プルダウン選択」の場合、選択必須です。 ※「選択項目」に表示される対象は「8.7「プルダウン選択」の「選択項目」で利用できる対象について」を参照してください。

設定箇所		説明
	参照項目	<p>「プルダウン選択」の「選択項目」で選んだ項目に対して、同じメニューに存在する別の項目を横並びで表示させることができます。</p> <p>「参照項目を選択」ボタンを押下すると横並びで表示させることが可能な項目の一覧が表示され、チェックボックスにチェックを入れて「決定」ボタンを押下することで対象を指定することができます。</p> <p>詳細な利用方法は「8.8「プルダウン選択」利用時の「参照項目」について」を参照してください。</p> <p>※「参照項目」を利用したメニューについて、表示フィルタの「プルダウン検索」で値にカッコがついた選択肢が表示される場合があります。詳しくは「8.12「参照項目」「パラメータシート参照」を用いたメニューのプルダウン検索について」を参照してください。</p>
	初期値	<p>作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで選択されている値を指定します。</p> <p>項目に設定した「選択項目」に登録されているデータをプルダウンから選択します。</p> <p>また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。</p>
パスワード	最大バイト数	<p>最大バイト数を入力します。</p> <p>最大は 8192 バイトです。</p> <p>半角英数字なら文字数分となります。</p> <p>全角文字ならば文字数×3+2 バイト必要になります。</p> <p>「入力方式」が「パスワード」の場合、入力必須です。</p>
ファイルアップロード	ファイル最大バイト数	<p>アップロードするファイルの最大バイト数を入力します。</p> <p>最大は 4294967296 バイトです。</p> <p>「入力方式」が「ファイルアップロード」の場合、入力必須です。</p>
リンク	最大バイト数	<p>最大バイト数を入力します。</p> <p>最大は 8192 バイトです。</p> <p>半角英数字なら文字数分となります。</p> <p>全角文字ならば文字数×3+2 バイト必要になります。</p> <p>「入力方式」が「リンク」の場合、入力必須です。</p>
	初期値	<p>作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。</p> <p>項目に設定した「最大バイト数」を超える値は入力できません。</p> <p>また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。</p>
パラメータシート参照	メニュー	<p>作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成したメニューをプルダウンから選択します。</p>
	項目	<p>「パラメータシート参照」の「メニュー」で選択したメニューから、参照する対象の項目を選択します。</p> <p>選択可能な項目は入力方式が「文字列(単一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「日時」「日付」「パスワード」「ファイルアップロード」「リンク」のものが対象です。</p> <p>※「パラメータシート参照」を利用したメニューについて、表示フィルタの「プルダウン検索」で値にカッコがついた選択肢が表示される場合があります。詳しくは「8.12「参照項目」「パラメータシート参照」を用いたメニューのプルダウン検索について」を参照してください。</p>
説明		
備考		項目名をマウスオーバーした際に表示される説明を入力します。
		備考欄を入力します。

- ・「グループ」ボタン
 カラムグループを設定します。
 表示したカラムグループの領域に項目をドラッグ&ドロップすると設定できるようになります。
 1つのグループに対して複数の項目が設定できます。



図 5.1-2 カラムグループ作成

- ・「リピート」ボタン
 縦メニュー作成時に繰り返す項目と回数を設定し、自動適用します。
 「縦メニュー利用」欄のチェックボックス「利用する」にチェックを入れると「リピート」ボタンが有効になります。
 表示した REPEAT の領域に項目をドラッグ&ドロップすると設定できるようになります。
 また、REPEAT には 2～99 の整数値が入力できます。
 ※データシートでは縦メニューは使用不可です。また、一つのリピートに対して項目は複数設定できますが、設定できるリピートは一つだけになります。



図 5.1-3 縦メニュー利用

- ・「取り消し」ボタン
入力・設定した項目を直前に戻します。
- ・「やり直し」ボタン
「取り消し」ボタンを押す前の状態に戻します。

5.2 (B) 「メニュー作成情報」タブ

- ・メニュー作成のために必要な情報を入力します。
 - ・「基本情報」枠

表 5.2-1 「基本情報」枠設定値

設定箇所	説明	作成対象の選択値	
		パラメータシート	データシート
項番	メニュー(パラメータシート/データシート)作成時は「自動入力」と表示されます。既存メニュー(パラメータシート/データシート)の編集時はそのメニューの項番が表示されます。	表示	表示
メニュー名	作成するメニュー(パラメータシート/データシート)の名称を入力します。「メインメニュー」という名称はメニュー名に使用できません。	表示	表示
作成対象	プルダウンから「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」、「パラメータシート(オペレーションあり)」、「データシート」のいずれかを選択します。 「データシート」を選択すると、「対象メニューグループ」枠に「入力用」欄が表示されます。	表示	表示

設定箇所	説明	作成対象の選択値	
		パラメータシート	データシート
	<p>「パラメータシート(オペレーションあり)」を選択すると、「基本情報」枠に「縦メニュー利用」チェックボックス、「対象メニューグループ」枠に「入力用」欄、「代入値自動登録用」欄、「参照用」欄が表示されます。</p> <p>「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択すると、「基本情報」枠に「ホストグループ利用」チェックボックス、「縦メニュー利用」チェックボックス、「対象メニューグループ」枠に「入力用」欄、「代入値自動登録用」欄、「参照用」欄が表示されます。</p> <p>初期値は「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」です。</p>		
表示順序	メニューグループにおける表示順序を入力します。昇順に表示されます。	表示	表示
ホストグループ利用	<p>「利用する」チェックボックスにチェックをいれた場合、「入力用」メニューグループにて「ホスト名/ホストグループ名」単位のパラメータシートが作成されます。</p> <p>「利用する」チェックボックスにチェックを入れない場合は「ホスト名」単位のパラメータシートが作成されます。</p> <p>※「作成対象」欄で「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択した場合、「ホストグループ利用」欄が表示されます。</p>	※	非表示
縦メニュー利用	<p>「作成対象」欄で「パラメータシート」を選択した場合、「縦メニュー利用」欄が表示されます。</p> <p>「利用する」チェックボックスにチェックをいれた場合、縦メニューに対応したパラメータシートを作成します。</p>	表示	非表示
最終更新日時	<p>初期表示は「自動入力」となります。</p> <p>閲覧、編集モードの場合表示されます。</p> <p>最終更新者が「メニュー作成機能」(BackYard がレコードを更新する際のユーザ)である場合、そのレコードを除いた最新のレコードの最終更新日時が表示されます。</p>	表示	表示
最終更新者	<p>初期表示は「自動入力」となります。</p> <p>閲覧、編集モードの場合表示されます</p> <p>最終更新者が「メニュー作成機能」(BackYard がレコードを更新する際のユーザ)である場合、そのレコードを除いた最新のレコードの最終更新者が表示されます。</p>	表示	表示

- ・「対象メニューグループ」枠
メニュー(パラメータシート/データシート)作成時に使用するメニューグループを表示します。
「対象メニューグループを選択」ボタンを押下すると、「対象メニューグループ」選択画面が表示され、
使用したいメニューグループを選択、設定することが出来ます。

表 5.2-2 「対象メニューグループ」枠設定値

設定箇所	説明	作成対象の選択値	
		パラメータシート	データシート
入力用	初期値は「入力用」メニューグループです。 「対象メニューグループ」選択画面の「入力用」列で選択したメニューグループ名が表示されます。 ※選択必須項目です。	表示	表示
代入値自動登録用	初期値は「代入値自動登録用」メニューグループです。 「作成対象」欄が「パラメータシート」の場合、「対象メニューグループ」選択画面の「代入値自動登録用」列で選択したメニューグループ名が表示されます。 ※「対象メニューグループ」枠に表示されている場合、選択必須項目です。	表示	非表示
参照用	初期値は「参照用」メニューグループです。 「作成対象」欄が「パラメータシート」の場合、「対象メニューグループ」選択画面の「参照用」列で選択したメニューグループ名が表示されます。 ※「対象メニューグループ」枠に表示されている場合、選択必須項目です。	表示	非表示



図 5.2-1 「対象メニューグループ」選択画面

※画像は「作成対象」欄で「パラメータシート」を選択した場合になります。

➤ 「対象メニューグループ」選択画面

- ◇ メニュー(パラメータシート/データシート)を作成する対象となるメニューグループを選択します。
- ◇ デフォルトでは「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループが選択されています。
- ◇ 使用したいメニューグループを選択し「決定」ボタンを押下してください。
- ◇ デフォルトのまま「決定」ボタンを押下すると、自動的に「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループが作成されます。(「作成対象」欄で「データシート」を選択した場合は「入力用」メニューグループのみ作成されます。)
- ◇ デフォルトのメニューグループを使用しない場合は、事前に「管理コンソール」メニューグループで作成してください。(作成方法については「利用手順マニュアル_管理コンソール」を参照してください。)
- ◇ 「メニュー定義/一覧」メニューに戻る場合は「取消」ボタンを押下してください。

・ 「一意制約(複数項目)」枠

作成したメニューにデータを登録する際に、指定した複数の項目で同じレコードの組み合わせが登録できないように制御する機能です。

一意制約(複数項目)

パターンを追加

1 項目 1 項目 2 項目 3 項目 4

2 項目 1 項目 2 項目 3 項目 4

決定 取消

・ 「項目 1」と「項目 2」のパターン
・ 「項目 3」と「項目 4」のパターン
で一意制約(複数項目)を設定

一覧/更新

履歴	複製	更新	廃止	No	項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	複製	更新	廃止	1	AAA	BBB	CCC	DDD	アクセス許可ロール		2021/07/12 14:31:53	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

登録

「項目 1」と「項目 2」で同じ組み合わせのレコードが既にあるためバリデーションエラー

「項目 3」と「項目 4」で同じ組み合わせのレコードが既にあるためバリデーションエラー

No	項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	アクセス権
自動入力	AAA	BBB	CCC	DDD	設定 アクセス許可ロール

設定

※*は必須項目です。

図 5.2-2 「一意制約(複数項目)」の機能

「一意制約(複数項目)を選択」ボタンを押下すると、「一意制約(複数項目)」設定画面が表示され、一意制約を適用させる項目の組み合わせを設定できます。

➤ 「一意制約(複数項目)」設定画面

- ◇ 「パターンを追加」ボタンを押下することで組み合わせのパターンが 1 つ追加されます。パターンは複数設定することができます。
- ◇ パターンには現在の項目がすべて表示され、項目をクリックすることで一意制約とする項目の組み合わせを設定できます。
- ◇ 不要なパターンは「削除」ボタンを押下することで削除することができます。
- ◇ 「取消」ボタンを押下することで、設定を反映させずに設定画面を閉じることができます。
- ◇ 「決定」ボタンを押下することで、設定した組み合わせのパターンが反映されます。

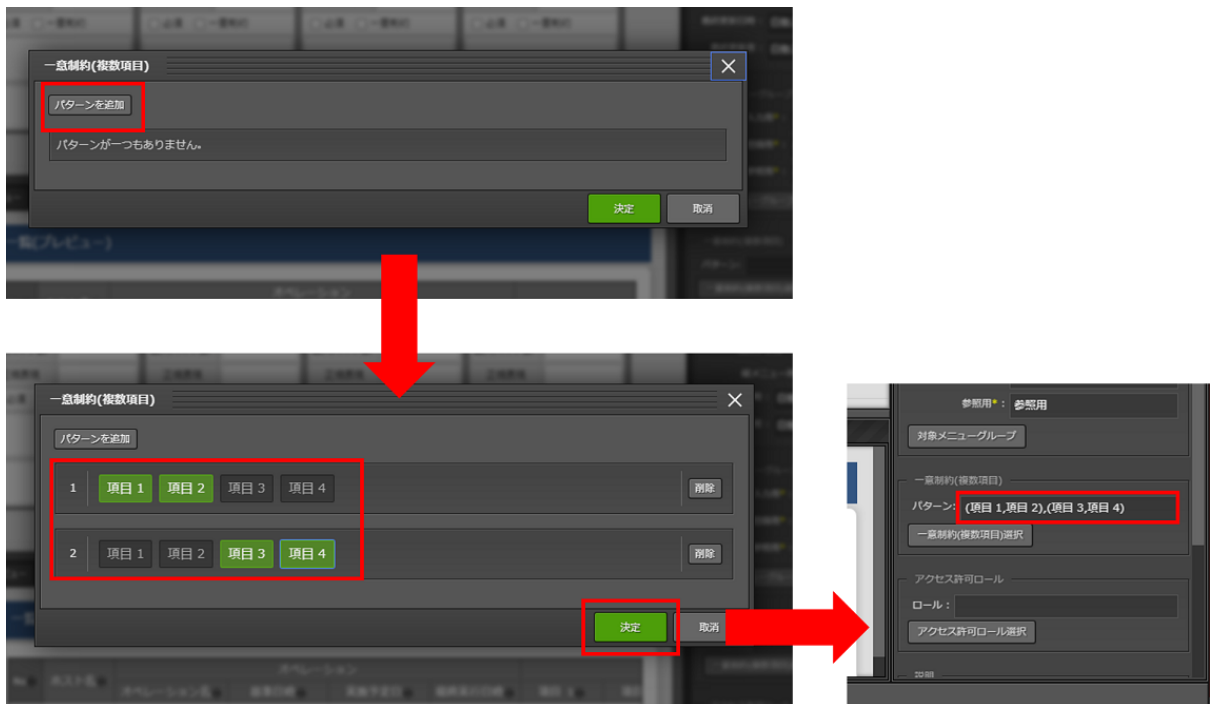


図 5.2-3 「一意制約(複数項目)」設定画面

- ◇ 以下のパターンはバリデーションエラーになります。
 - ① 1つのパターンに項目が1つしか選択されていない場合。
 - ② 同じ項目の組み合わせのパターンが存在する場合。



図 5.2-4 「一意制約(複数項目)」バリデーションエラーパターン

- ・ 「アクセス許可ロール」枠
 - ロールを選択した場合
 - ◇ メニュー定義(「メニュー作成」メニューグループ配下の各メニュー)は、選択したロールからのみアクセスが可能となります。
 - ◇ 作成したメニュー(パラメータシート/データシート)は、「ロール/メニュー紐付管理」メニューの設定により選択したロールのみアクセス可能となります。
 - ロールを一つも選択しなかった場合
 - ◇ メニュー定義(「メニュー作成」メニューグループ配下の各メニュー)は、すべてのロールがアクセス可能となります。
 - ◇ 作成したメニュー(パラメータシート/データシート)は、「ロール/メニュー紐付管理」メニューの設定によりシステム管理者のロールと作成ユーザが所属するロールのみアクセス可能となります。

5.3 (C) メニュー作成実行

- ・「プレビュー」タブ
入力中の項目がテーブル形式で表示されます。
- ・「ログ」タブ
「作成」ボタン押下後の作成実行結果の内容を表示します。
- ・「作成」ボタン(新規作成時)
必須項目入力後に押下するとメニュー(パラメータシート/データシート)の作成を行います。
確認のダイアログでOKを押下すると下記のダイアログが表示されます。

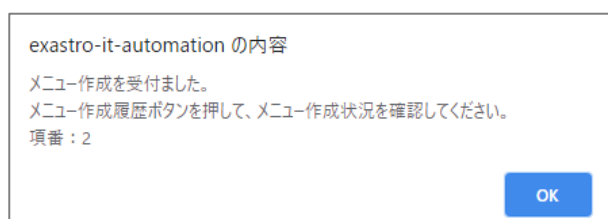


図 5.3-1 メニュー受付のダイアログ

作成後は閲覧画面下部の「メニュー作成履歴」ボタンから「メニュー作成履歴」メニューに遷移し、正常にメニューが作成されたか確認をしてください。



図 5.3-2 閲覧画面の「メニュー作成履歴」ボタン

「メニュー定義・作成」メニューでメニュー(パラメータシート/データシート)を作成した場合、「メニュー定義一覧」、「カラムグループ管理」、「メニュー作成項目」、「メニュー作成(縦)作成情報」の各メニューに対して自動でデータが入ります。

5.4 メニュー作成受付後の「メニュー定義・作成」メニューの使い方

「メニュー定義・作成」メニューでメニュー(パラメータシート/データシート)を新規作成した後は、作成したメニューの編集や初期化、作成したメニューをテンプレートとして流用する形で新規作成することが可能です。

- ・ 閲覧画面

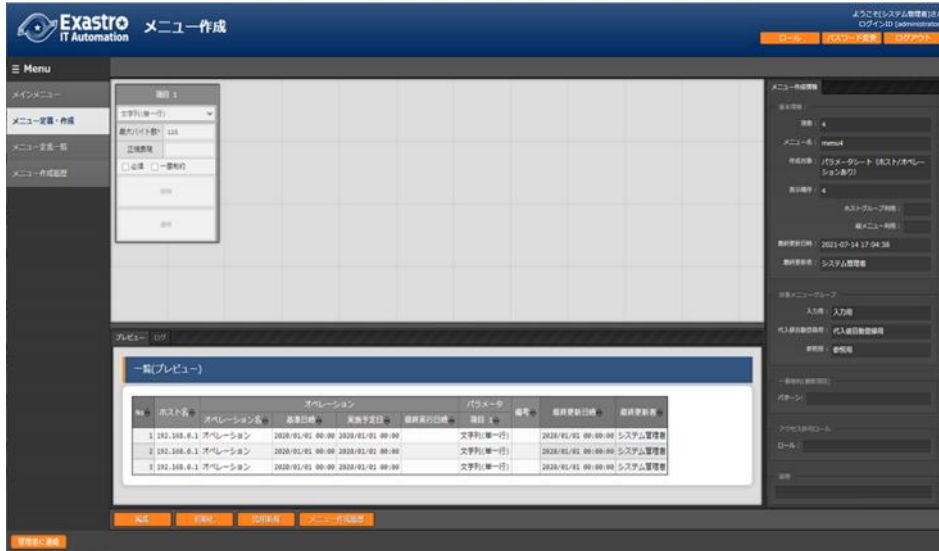


図 5.4-1 閲覧画面

新規作成後は上記の閲覧画面に遷移します。

閲覧画面ではメニュー(パラメータシート/データシート)の編集や作成は出来ません。

画面上に表示されている「編集」、「初期化」、「流用新規」ボタンを押下することで、編集や作成が可能になります。

「編集」ボタンと「初期化」ボタンではなく「作成」ボタンが表示される場合は、メニュー作成機能の BackYard 処理がメニュー作成を完了していない状態です。メニュー作成完了後にブラウザ画面を更新すると、「編集」ボタンと「初期化」ボタンが表示されるようになります。

メニュー作成のステータスは「メニュー作成履歴」ボタンより遷移できる「メニュー作成履歴」メニューで確認できます。



図 5.4-2 Backyard 処理が完了していない場合のボタン配置

- 「編集」ボタン
「編集」ボタンを押下すると閲覧画面から編集画面へ遷移します。編集画面では、「入力用」メニューグループから登録したデータを保持したまま、項目の追加や削除が可能です(既存の項目の設定値や、基本情報は一部箇所を除いて修正できません)。編集し「作成(編集)」ボタンを押下するとメニュー(パラメータシート/データシート)の編集が実行されます。
- 「初期化」ボタン
「初期化」ボタンを押下すると閲覧画面から初期化画面へ遷移します。初期化画面では値を編

集し「作成(初期化)」ボタンを押下するとメニュー(パラメータシート/データシート)が再作成されます。再作成される際、「入力用」メニューグループから登録したデータは削除されます。

- 「流用新規」ボタン
「流用新規」ボタンを押下すると、閲覧画面で表示中のメニューをテンプレートとして新規作成する画面へ遷移します。メニュー名と表示順序は新たに入力してください。
メニュー名は既存のメニュー名と違う名前にしてください。
- 「メニュー作成履歴」ボタン
閲覧画面に表示されているメニューの「メニュー作成履歴」メニューに遷移します。

・ 編集画面



図 5.4-3 編集画面

編集画面では「入力用」メニューグループで登録したデータを保持したまま、メニューの編集をすることが可能です。

既存項目は「項目名」「正規表現」「説明」「備考」の設定値を自由に変更できます。
「最大バイト数」「最小値」「最大値」「桁数」「ファイル最大バイト数」の設定値については、元の値よりも大きい数値にのみ変更できます。
「正規表現」を変更した場合、登録済みのデータが変更後の「正規表現」と不整合な状態になったとしてもデータは保持されます。

「最大バイト数」「最小値」「最大値」「桁数」「ファイル最大バイト数」の

既存項目を削除した場合、その項目に入力されていたデータは削除されます。

新規項目を追加した場合、レコードが空の状態項目が追加されます。
「必須」「一意制約」にチェックを入れた場合でもレコードが空の状態となるため、登録データに不整合が生じる場合があります。

対象メニューグループを変更した場合、変更前に選択されていたメニューグループに作成されているメニューは廃止され、変更後のメニューグループに新たに登録されます。(その場合も登録したデータ

は保持されます。)

「基本情報」の「メニュー名」「作成対象」「ホストグループ利用」「縦メニュー利用」の設定値を変更することはできません。

「メニュー項目作成情報」メニューから項目のデータを更新して「作成(編集)」を実行した場合、作成したメニューに不整合が発生する場合があります。

- ・ 「作成(編集)」ボタン
編集画面に表示されているメニュー(パラメータシート/データシート)に、データを保持したまま編集します。
※既存メニュー(パラメータシート/データシート)を編集する場合、項目間で項目名の交換ができないため、項目名を変更すると、作成する時エラーが発生する恐れがあります。
 - ・ 「再読込」ボタン
編集内容が破棄されて登録内容の状態に戻ります。
 - ・ 「キャンセル」ボタン
「編集」ボタン押下前の状態に戻ります。
- ・ 初期化画面



図 5.4-4 初期化画面

初期化画面では画面に表示されているメニューを編集することが可能です。

対象メニューグループを変更した場合、変更前に選択されていたメニューグループに作成されているメニューは廃止され、変更後のメニューグループに新たに登録されます。

「基本情報」の「メニュー名」を変更することはできません。

「メニュー名」以外の編集に制限はありませんが、「入力用」メニューグループで登録したデータはすべて削除されます。

- ・ 「作成(初期化)」ボタン
編集画面に表示されているメニュー(パラメータシート/データシート)が再作成されます。
※既存メニュー(パラメータシート/データシート)を編集する場合、項目間で項目名の交換ができないため、項目名を変更すると、作成する時エラーが発生する恐れがあります。
- ・ 「再読込」ボタン
編集内容が破棄されて登録内容の状態に戻ります。
- ・ 「キャンセル」ボタン
「編集」ボタン押下前の状態に戻ります。

5.5 「メニュー定義一覧」メニューでメニューを確認

「メニュー定義一覧」メニューでは以下の確認および作業が可能です。

- ・ 作成したメニュー（パラメータシート/データシート）の一覧表示
- ・ 作成したメニュー（パラメータシート/データシート）のメンテナンス（参照/更新/廃止/復活）
- ・ 「メニュー定義・作成」メニューを使用しないメニュー（パラメータシート/データシート）の作成

メニュー（パラメータシート/データシート）のメンテナンス（参照/更新/廃止/復活）が可能です。

階層	項番	メニュー定義・作成	作成対象	入力用メニューグループ	代入値自動登録用メニューグループ	参照用メニューグループ	最終更新日時	最終更新者
解除	1	メニュー定義・作成	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	入力用	代入値自動登録用	参照用	2021/07/05 23:42:21	メニュー作成機能
解除	2	メニュー定義・作成	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	入力用	代入値自動登録用	参照用	2021/07/05 23:45:16	メニュー作成機能
解除	3	シート	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	入力用	代入値自動登録用	参照用	2021/07/11 18:40:38	メニュー作成機能
解除	4	メニュー定義・作成	パラメータシート (オペレーションあり)	入力用	代入値自動登録用	参照用	2021/07/14 15:12:34	メニュー作成機能
解除	5	メニュー定義・作成	データシート	入力用			2021/07/16 10:00:16	メニュー作成機能
解除	6	メニュー定義・作成	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	入力用	代入値自動登録用	参照用	2021/07/16 10:59:17	メニュー作成機能
解除	7	メニュー定義・作成	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	入力用	代入値自動登録用	参照用	2021/07/16 12:34:53	メニュー作成機能
解除	8	gement	データシート	入力用			2021/07/16 13:39:53	メニュー作成機能

図 5.5-1 「メニュー定義一覧」メニュー

「メニュー定義一覧」メニュー>「一覧/更新」サブメニューには作成したメニュー（パラメータシート/データシート）の一覧が表示されます。表示されている「メニュー定義・作成」ボタンを押下すると「メニュー定義・作成」メニューの閲覧画面に遷移します。

また、入力用・代入値自動登録用・参照用メニューグループのリンクをクリックすると、対象のメニューグループ管理画面へ遷移します。

**下記は「メニュー定義一覧」メニューでメニュー（パラメータシート/データシート）を作成する方法です。
「メニュー定義・作成」メニューでメニュー（パラメータシート/データシート）を作成した場合は不要です。**

表 5.5-1 「メニュー定義一覧」メニュー設定値

設定箇所	説明	作成対象の選択値	
		パラメータシート	データシート
メニュー名	作成するメニュー(パラメータシート/データシート)の名称を入力します。「メインメニュー」という名称はメニュー名に使用できません。 「メニュー作成状態」が「作成済み」の場合「メニュー名」を変更することはできません。	表示	表示
作成対象	プルダウンから「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」、「パラメータシート(オペレーションあり)」、「データシート」のいずれかを選択すると「一覧/更新」サブメニューおよび「登録」サブメニュー内でヘッダーの色が変わります。 「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択すると、「表示順序」欄、「用途」欄、「縦メニュー利用」欄、「入力用メニューグループ」欄、「代入値自動登録用メニューグループ」欄、「参照用メニューグループ」欄、「説明」欄、「アクセス権」欄、「備考」欄が設定箇所として表示されます。 「パラメータシート(オペレーションあり)」を選択すると、「表示順序」欄、「縦メニュー利用」欄、「入力用メニューグループ」欄、「代入値自動登録用メニューグループ」欄、「参照用メニューグループ」欄、「説明」欄、「アクセス権」欄、「備考」欄が設定箇所として表示されます。 「データシート」を選択すると、「表示順序」欄、「入力用メニューグループ」欄、「説明」欄、「アクセス権」欄、「備考」欄が設定箇所として表示されます。 初期値は「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」です。	表示	表示
表示順序	メニューグループにおける表示順序を入力します。昇順に表示されます。	表示	表示
用途	「作成対象」欄で「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択した場合、「用途」欄が表示されます。「ホスト用」を選択した場合は「ホスト名」単位のパラメータシートが作成されます、 「ホストグループ用」を選択した場合、「入力用」メニューグループにて「ホスト名/ホストグループ名」単位のパラメータシートが作成されます。	表示	非表示
縦メニュー利用	「作成対象」欄で「パラメータシート」を選択した場合、「縦メニュー利用」欄が表示されます。 プルダウンから「●」を選択した場合、縦メニューに対応したパラメータシートを作成します。	表示	非表示
入力用メニューグループ ※	「作成対象」欄が「パラメータシート」および「データシート」の場合、「入力用メニューグループ」欄が表示されます。 パラメータシートおよびデータシートを作成するメニューグループをプルダウンから選択します。	表示	表示
代入値自動登録用メニューグループ ※	「作成対象」欄が「パラメータシート」の場合、「代入値自動登録用メニューグループ」欄が表示されます。 代入値自動登録用のパラメータシートを作成するメニューグループをプルダウンから選択します。	表示	非表示
参照用メニューグループ ※	「作成対象」欄が「パラメータシート」の場合、「参照用メニューグループ」欄が表示されます。 参照用のパラメータシートを作成するメニューグループをプルダウンから選択します。	表示	非表示
メニュー作成状態	メニュー作成が実行されたかどうかのフラグです。 一度でも作成された場合は「作成済み」と表示されます。作成されていない場合は「未作成」と表示されます。 「作成済み」の場合「メニュー名」を変更できなくなります。	表示	表示

設定箇所	説明	作成対象の選択値	
		パラメータシート	データシート
説明	メニュー画面の説明欄に表示する内容を入力します。	表示	表示
備考	自由記述欄です。	表示	表示

※デフォルトのメニューグループを使用しない場合は、事前に「管理コンソール」メニューグループで作成してください。（作成方法については「利用手順マニュアル_管理コンソール」を参照してください。）

5.6 「メニュー作成履歴」メニューで作成状況の確認

パラメータシートまたはデータシートのメニュー作成の状態を確認します。

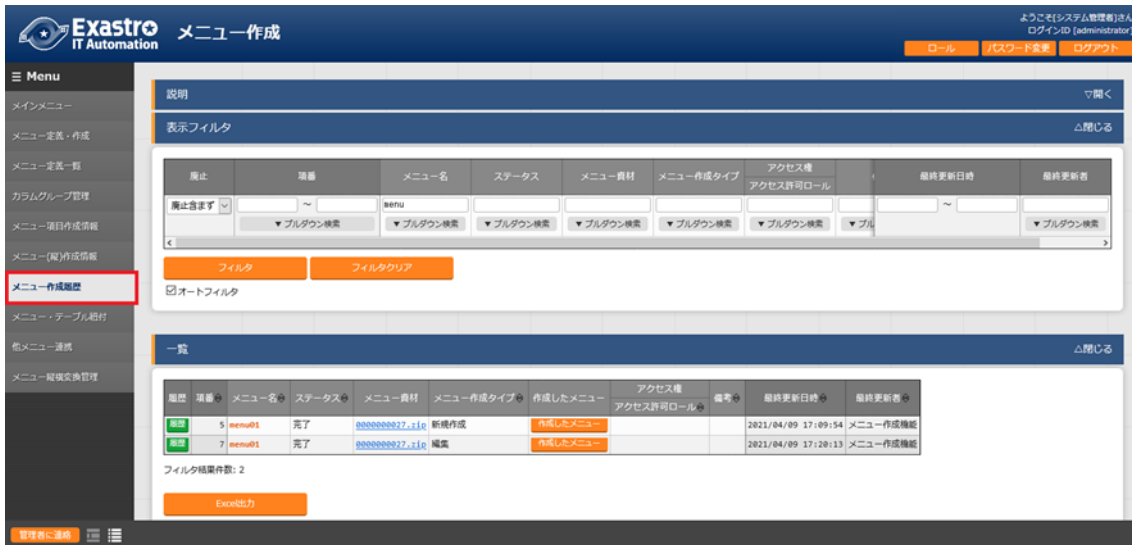


図 5.6-1 「メニュー作成履歴」メニュー

ステータス「未実行」を BackYard が監視しており、BackYard は未実行のデータを元に、メニュー（パラメータシート/データシート）の設定ファイル作成、SQL を実行してテーブル作成、メニュー（パラメータシート/データシート）画面プログラムの配置と登録を行います。

ステータスが「完了」になった時（数十秒程度）にメニュー（パラメータシート/データシート）がメニューグループに追加されます。

表 5.6-1 「メニュー作成履歴」メニュー各項目

項目名	説明
メニュー名	作成対象のメニュー（パラメータシート/データシート）名です。
ステータス	メニュー（パラメータシート/データシート）作成状況のステータスです。 未実行：メニュー（パラメータシート/データシート）作成前の状態 実行中：BackYard がメニュー（パラメータシート/データシート）作成処理を実行中 完了：メニュー（パラメータシート/データシート）作成が正常に完了 完了（異常）：メニュー（パラメータシート/データシート）作成時にエラー終了した状態
メニュー資材	メニュー（パラメータシート/データシート）にて使用される PHP ファイルと SQL ファイルです。 BackYard と web サーバが別の場合、この資材を web サーバに配置する必要があります。 「 8.1PHP ファイルの配置 」を参照
メニュー作成タイプ	メニュー（パラメータシート/データシート）作成のタイプです。 新規作成：新しくメニューを作成した場合 初期化：既存メニューを初期化した場合 編集：既存メニューを編集した場合
作成したメニュー	ステータスが「完了」の場合、「作成したメニュー」ボタンを押下すると作成したメニュー（パラメータシート/データシート）画面がブラウザの別タブで開きます。 入力用メニューグループに設定したメニューグループのメニュー（パラメータシート/データシート）に遷移します。
備考	自由記述欄です。

5.7 作成されたメニューの確認

「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー定義・作成」メニュー>「メニュー作成情報」タブ>「基本情報」枠にて選択した値によって作成される下記(1)~(5)パターンのメニュー(パラメータシート/データシート)について説明します。

- (1) データシート
 - A) 入力用メニューグループ

- (2) パラメータシート(オペレーションあり)
 - A) 入力用メニューグループ
 - B) 代入値自動登録用メニューグループ
 - C) 参照用メニューグループ

- (3) パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)
 - A) 入力用メニューグループ
 - B) 代入値自動登録用メニューグループ
 - C) 参照用メニューグループ

- (4) パラメータシート(ホスト/オペレーションあり) & ホストグループ利用
 - A) 入力用メニューグループ
 - B) 代入値自動登録用メニューグループ
 - C) 参照用メニューグループ

- (5) パラメータシート & 縦メニュー利用
 - A) 入力用メニューグループ
 - B) 代入値自動登録用メニューグループ
 - C) 参照用メニューグループ

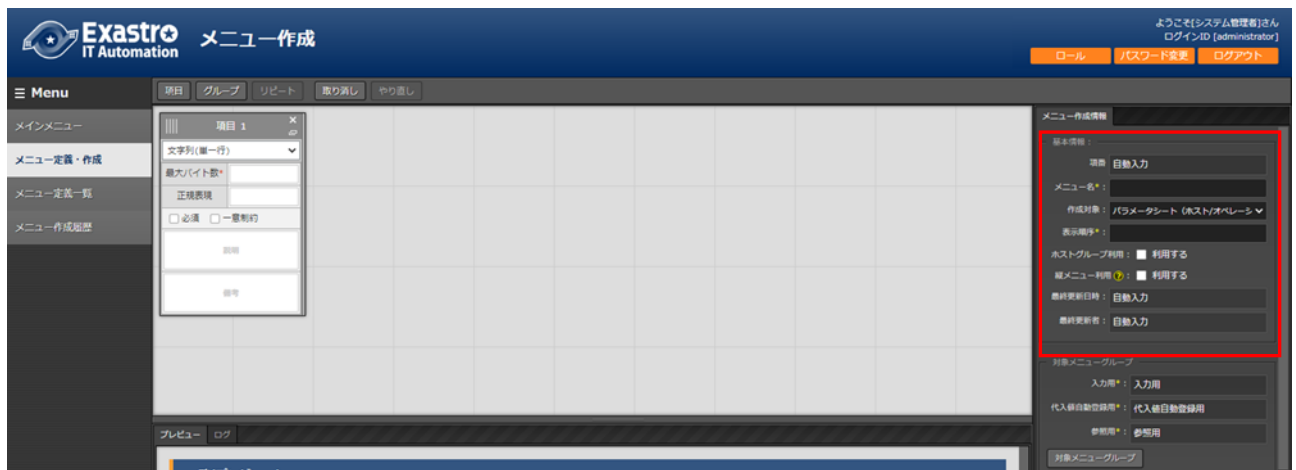


図 5.7-1 「基本情報」枠の選択箇所

(1) 「作成対象」欄で”データシート”を選択した場合

メニュー（パラメータシート/データシート）作成時に「メニュー定義・作成」メニュー（または「メニュー定義一覧」メニュー）の「作成対象」欄で「データシート」を選択した場合、データシートが作成されます。



図 5.7-2 データシート作成

「入力用(メニューグループ)」欄で指定したメニューグループにデータシートが追加されていることを確認してください。



図 5.7-3 「入力用」メニューグループ

A) 入力用メニューグループ

メンテナンス(登録/更新/廃止/復活)が可能なデータシートが作成されます。



図 5.7-4 入力用メニューグループ配下に作成されたデータシート

※データシートは特定のホスト/オペレーションに紐づかないためホスト/オペレーション項目は表示されません。

※「代入値自動登録用」および「参照用」メニューグループにはデータシートは作成されません。

(2) 「作成対象」欄で”パラメータシート(オペレーションあり)”を選択した場合

メニュー(パラメータシート/データシート)作成時に「メニュー定義・作成」メニュー(または「メニュー定義一覧」メニュー)の「作成対象」欄で「パラメータシート(オペレーションあり)」を選択した場合、オペレーション単位のパラメータシートが作成されます。



図 5.7-5 パラメータシート(オペレーションあり)作成

「入力用(メニューグループ)」欄、「代入値自動管理用(メニューグループ)」欄、「参照用(メニューグループ)」欄で指定したメニューグループにパラメータシートが追加されていることを確認してください。



図 5.7-6 「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループ

A) 入力用メニューグループ

オペレーション単位でメンテナンス(登録/更新/廃止/復活)が可能なパラメータシートが作成されます。



図 5.7-7 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

B) 代入値自動登録用メニューグループ

閲覧専用メニューです。入力用メニューグループで登録した内容がオペレーション単位で「一覧」サブメニューに表示されます。

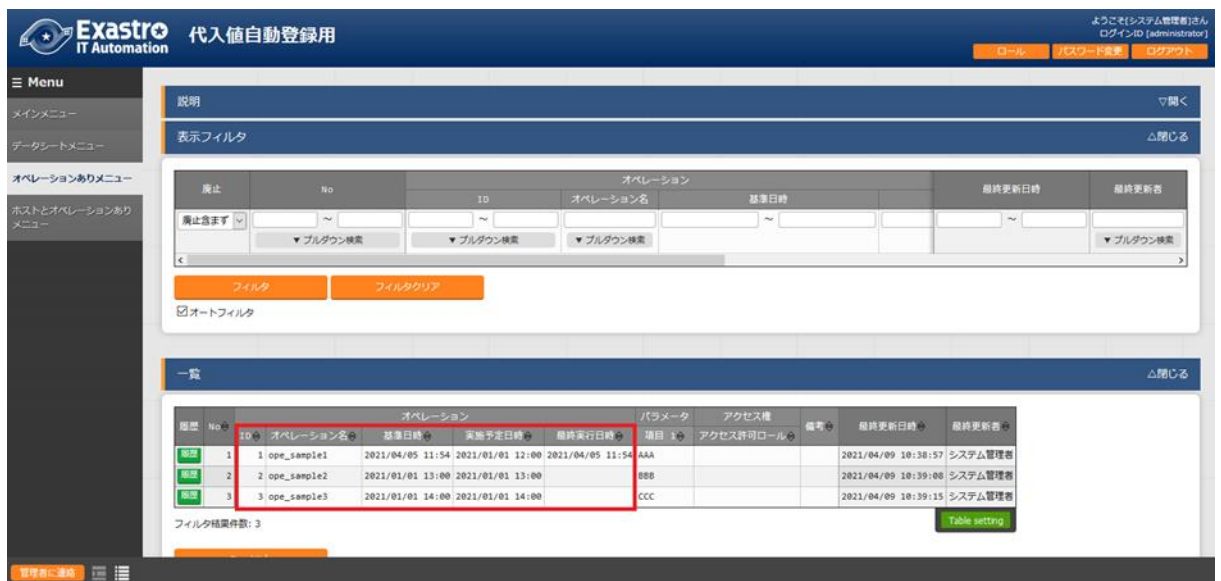


図 5.7-8 代入値自動登録用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

C) 参照用メニューグループ

閲覧専用メニューです。「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄で指定した日時の時点で有効になっている設定を「一覧」サブメニューに表示します。

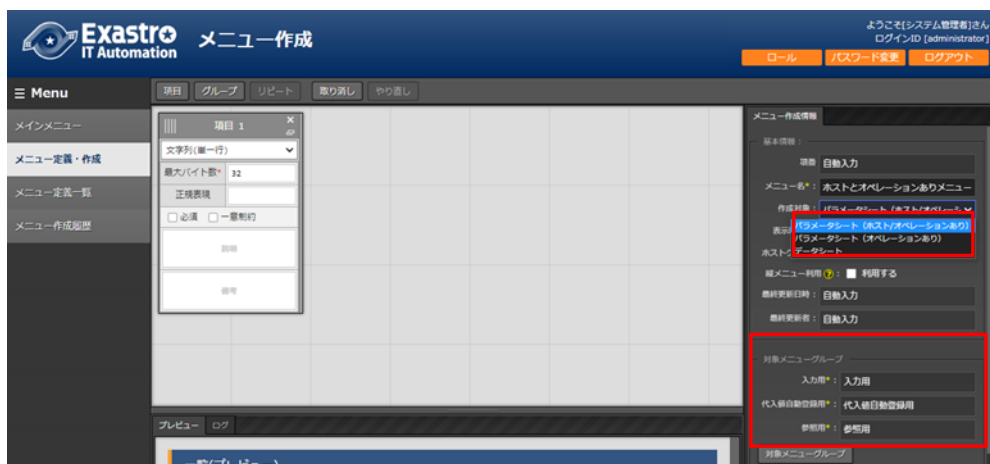


図 5.7-9 参照用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄が空白の状態です。「フィルタ」ボタンを押下した場合、「一覧」サブメニューにオペレーション単位で「基準日時」欄が最新のデータのみ表示されます。

(3) 「作成対象」欄で「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択した場合

メニュー(パラメータシート/データシート)作成時に「メニュー定義・作成」メニュー(または「メニュー定義一覧」メニュー)の「作成対象」欄で「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択した場合、ホスト名単位のパラメータシートが作成されます。



「入力用(メニューグループ)」欄、「代入値自動管理用(メニューグループ)」欄、「参照用(メニューグループ)」欄で指定したメニューグループにパラメータシートが追加されていることを確認してください。



図 5.7-11 「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループ

A) 入力用メニューグループ

ホスト名単位でメンテナンス(登録/更新/廃止/復活)が可能なパラメータシートが作成されます。



図 5.7-12 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

B) 代入値自動登録用メニューグループ

閲覧専用メニューです。入力用メニューグループで登録した内容がホスト名単位で「一覧」サブメニューに表示されます。

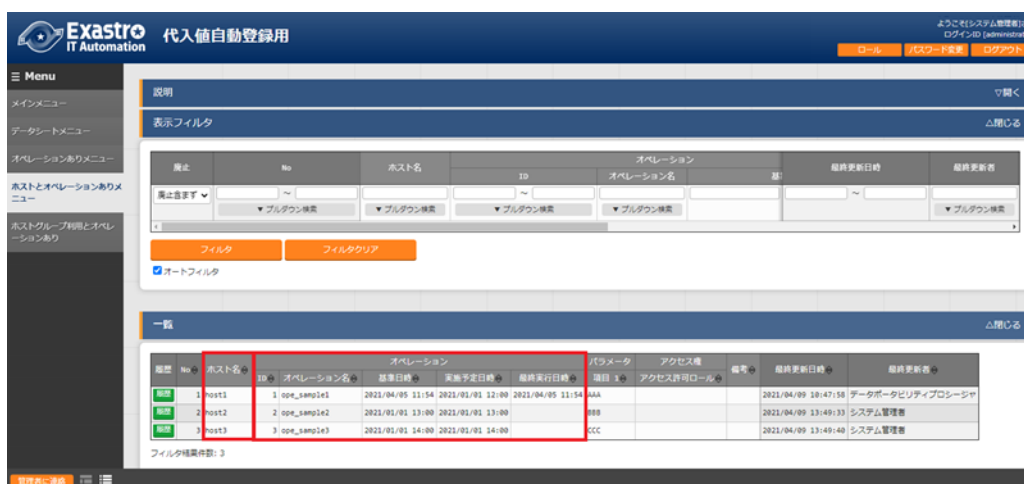


図 5.7-13 代入値自動登録用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

C) 参照用メニューグループ

閲覧専用メニューです。「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄で指定した日時の時

点で有効になっている設定をホスト名単位で「一覧」サブメニューに表示します。

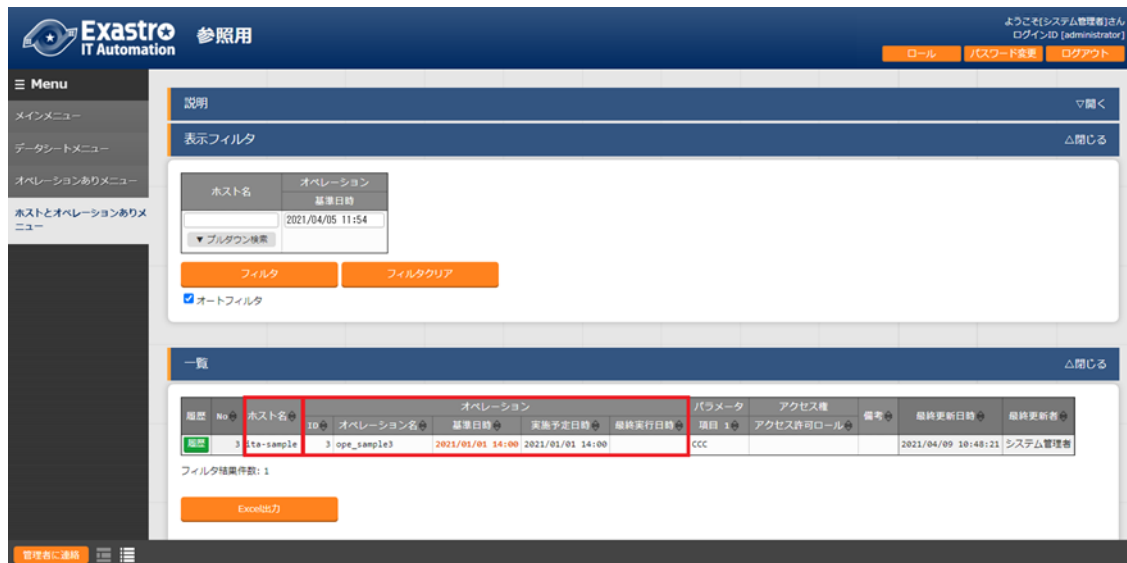


図 5.7-14 参照用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄が空白の状態です。「フィルタ」ボタンを押下した場合、「一覧」サブメニューにホスト名単位で「基準日時」欄が最新のデータのみ表示されます。

(4) 「作成対象」欄で”パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)”を選択し、

「ホストグループ利用」チェックボックスにチェックを入れた場合

メニュー(パラメータシート/データシート)作成時に「メニュー定義・作成」メニュー(または「メニュー定義一覧」メニュー)の「作成対象」欄で「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択し、「ホストグループ利用」欄の「利用する」チェックボックスにチェックを入れた場合、ホスト名またはホストグループ名単位のパラメータシートが作成されます。



図 5.7-15 パラメータシート(ホストグループ利用)作成

「入力用(メニューグループ)」欄、「代入値自動管理用(メニューグループ)」欄、「参照用(メニューグループ)」欄で指定したメニューグループにパラメータシートが追加されていることを確認してください。



図 5.7-16 「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループ

A) 入力用メニューグループ

ホスト名またはホストグループ名単位でメンテナンス(登録/更新/廃止/復活)が可能なパラメータシートが作成されます。

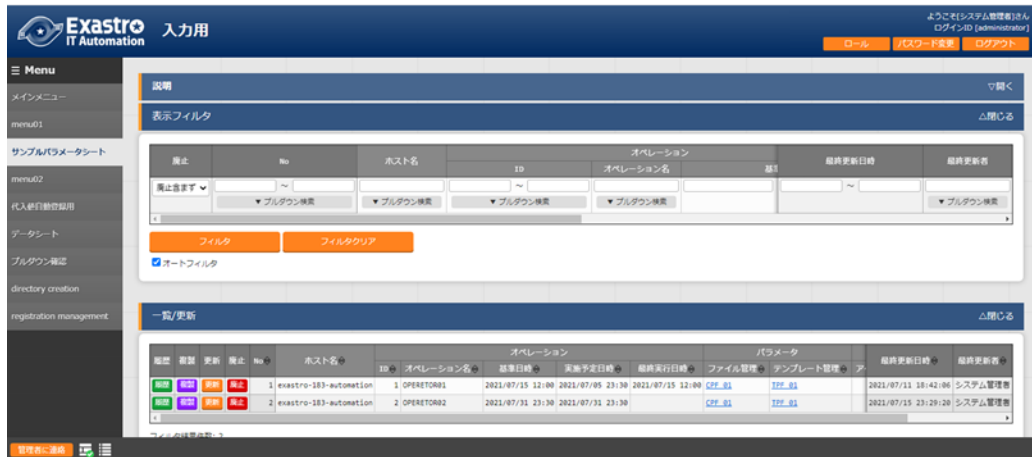


図 5.7-17 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

「登録」サブメニューの「ホスト名/ホストグループ名」欄にて、ホストグループ名は名称の先頭に[HG]と表示されます。ホスト名は名称の先頭に[H]と表示されます。

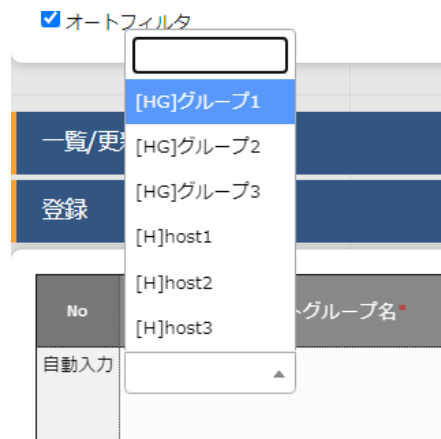


図 5.7-18 「ホスト名/ホストグループ名」欄

B) 代入値自動登録用メニューグループ

閲覧専用メニューです。入力用メニューグループで登録した内容がホスト名単位で「一覧」サブメニューに表示されます。



図 5.7-19 代入値自動登録用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

C) 参照用メニューグループ

閲覧専用メニューです。「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄で指定した日時の時点で有効になっている設定をホスト名単位で「一覧」サブメニューに表示します。

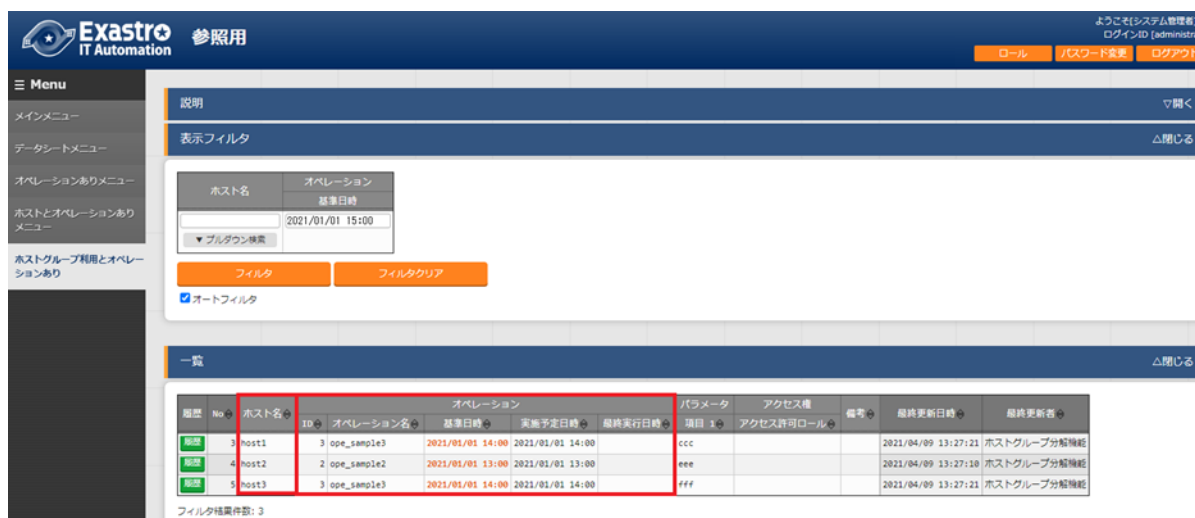


図 5.7-20 参照用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄が空白の状態ですら「フィルタ」ボタンを押下した場合、「一覧」サブメニューにホスト名単位で「基準日時」欄が最新のデータのみ表示されます。

(5) 「作成対象」欄で”パラメータシート”を選択し、

「縦メニュー利用」チェックボックスにチェックを入れた場合

メニュー(パラメータシート/データシート)作成時に「メニュー定義・作成」メニュー(または「メニュー定義一覧」メニュー)の「作成対象」欄で「パラメータシート(オペレーションあり)」および「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」を選択し、「縦メニュー利用」欄の「利用する」チェックボックスにチェックを入れた場合、作成した項目が REPEAT 数に沿った縦表示のパラメータシートが作成されます。



図 5.7-21 パラメータシート(縦メニュー利用)作成

例) hosts ファイルへ記載するパラメータの管理

上記の様に「IP アドレス」と「ドメイン」の 2 項目を作成し「4:REPEAT」と設定した場合、

下記の hosts ファイルの様に「IP アドレス」と「ドメイン」を 4 回繰り返す登録をパラメータシートで行うことが可能です。

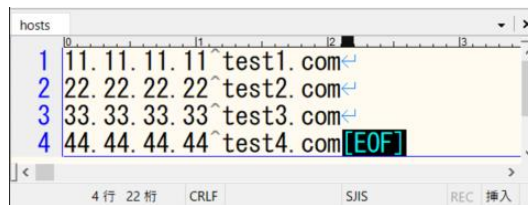


図 5.7-22 hosts ファイル

「入力用(メニューグループ)」欄、「代入値自動管理用(メニューグループ)」欄、「参照用(メニューグループ)」欄で指定したメニューグループにパラメータシートが追加されていることを確認してください。



図 5.7-23 「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループ

A) 入力用メニューグループ

ホスト名単位でメンテナンス(登録/更新/廃止/復活)が可能なパラメータシートが作成されます。(ホストグループ利用にチェックを入れた場合、ホストグループ名単位でメンテナンス可能です。)

登録済みの「ホスト名」と「オペレーション」の組み合わせに対して、「代入順序」欄を入力することで複数のパラメータを設定することが可能です。

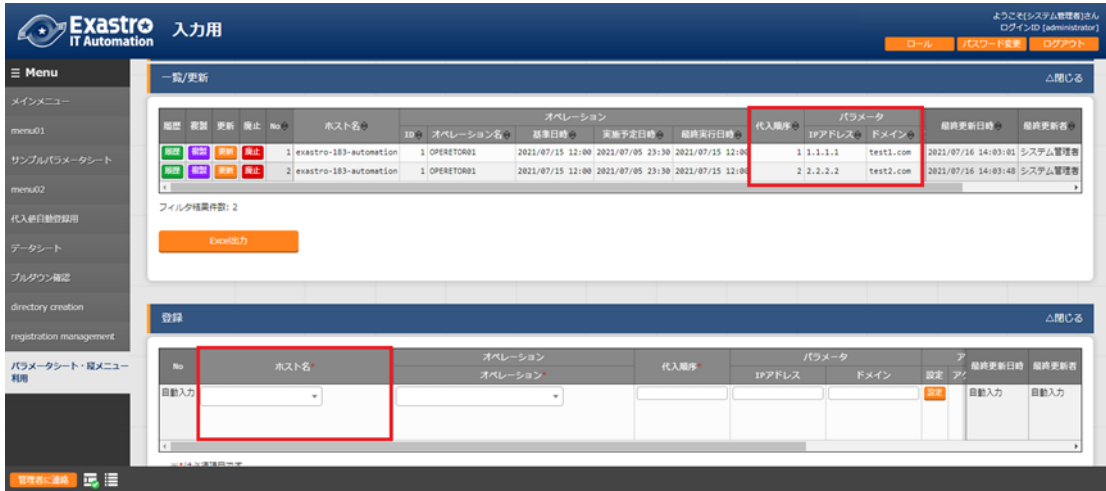


図 5.7-24 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※「4:REPEAT」設定の場合、代入順序 1~4 の範囲で登録することが可能です。

例)縦メニューを利用しないで上記の登録を試みた場合①

登録済みの「ホスト名」と「オペレーション」の組み合わせに対して、複数のパラメータを設定することはできません。



図 5.7-25 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※「host01」と「operation01」の組み合わせに対し既に「11.11.11.11」「test1.com」が設定されている場合、同様に「22.22.22.22」「test2.com」を設定しようとすると重複エラーになります。

例)縦メニューを利用しないで上記の登録を試みた場合②

登録済みの「ホスト名」と「オペレーション」の組み合わせに対して、複数のパラメータを設定する場合、項目数を増やすことで設定可能ですが、パラメータシートが横長になり視認性が悪くなります。



図 5.7-26 「メニュー定義・作成」メニュー

※「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー定義・作成」メニューにて項目を作成した分、パラメータを設定することが可能です。

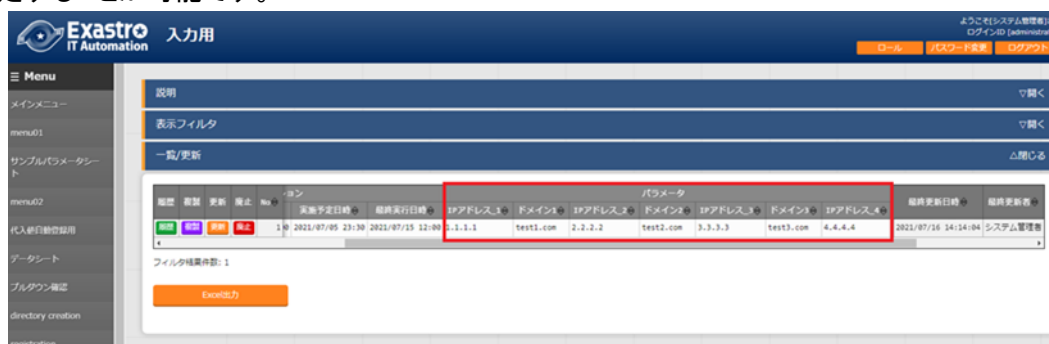


図 5.7-27 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※上記の場合、「IP アドレス_4」「ドメイン_4」まで項目を作成しており、それ以降の項目は存在しません。

また、項目が存在しないため、同一の「ホスト名」「オペレーション」の組み合わせに対して「IP アドレス_5」「ドメイン_5」にあたる内容(「55.55.55.55」「test5.com」)を登録することはできません。

hosts ファイルの様に、同一の項目を繰り返すパラメータシートを作成する場合、縦メニューの利用を推奨します。(データシートには縦メニューの利用はできません。)

B) 代入値自動登録用メニューグループ

閲覧専用メニューです。入力用メニューグループで登録した内容が縦メニューから通常メニュー(横表示)に自動的に変換された形式で「一覧」サブメニューに表示されます。

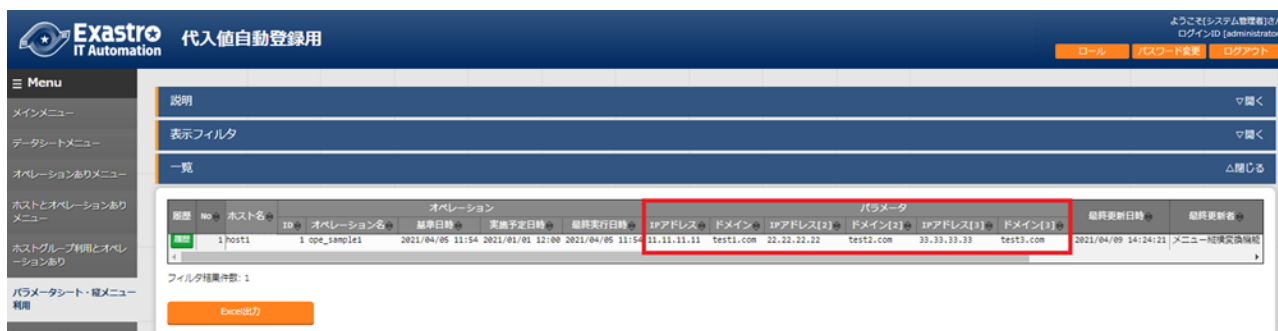


図 5.7-28 代入値自動登録用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

「ホスト名」と「オペレーション」の組み合わせに対して1行で登録内容が表示されます。パラメータには「項目名[繰り返し数]」が表示されます。

C) 参照用メニューグループ

閲覧専用メニューです。「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄で指定した日時の時点で有効になっている設定を「ホスト名」と「オペレーション」の組み合わせ単位で「一覧」サブメニューに表示します。

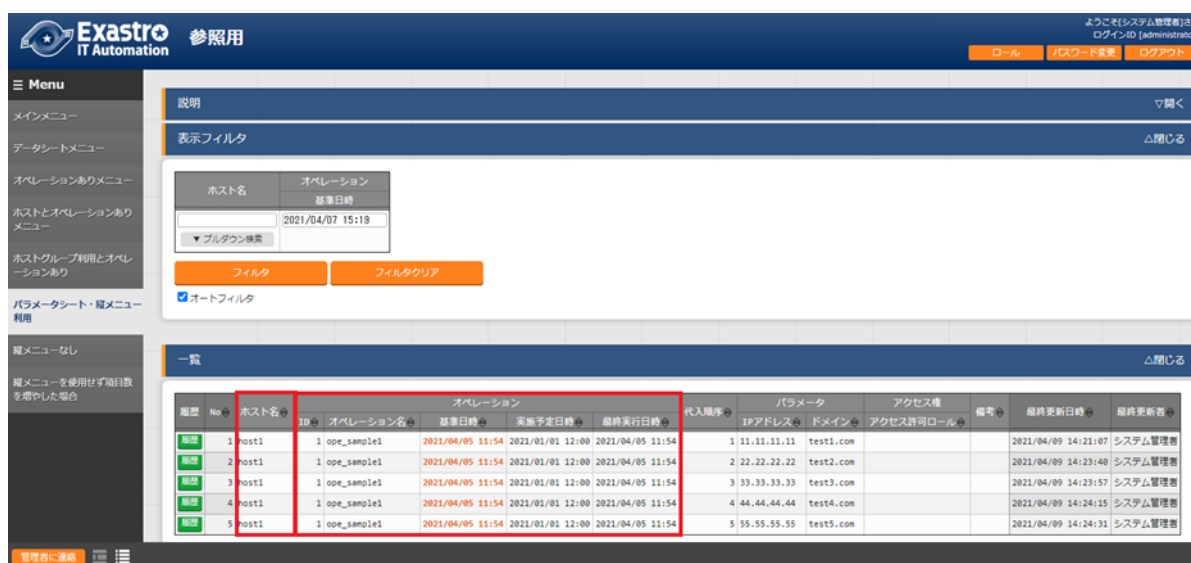


図 5.7-29 参照用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

※「表示フィルタ」サブメニューの「オペレーション: 基準日時」欄が空白の状態です。「フィルタ」ボタンを押下した場合、「一覧」サブメニューにホスト名単位で「基準日時」欄が最新のデータのみ表示されます。

6 「メニュー作成」メニューグループのインストール時非表示メニュー

6.1 「カラムグループ管理」メニューでカラムグループを登録

インストール時「カラムグループ管理」メニューは非表示です。

作成するメニュー(パラメータシート/データシート)のカラムグループをメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。



図 6.1-1 「カラムグループ管理」メニュー

カラムグループとは、メニュー(パラメータシート/データシート)項目の見出し部分を表示上まとめるグループのことです。メニュー作成機能では、作成する項目のカラムグループを作成することができます。

下記の赤枠線部分はカラムグループの例です。

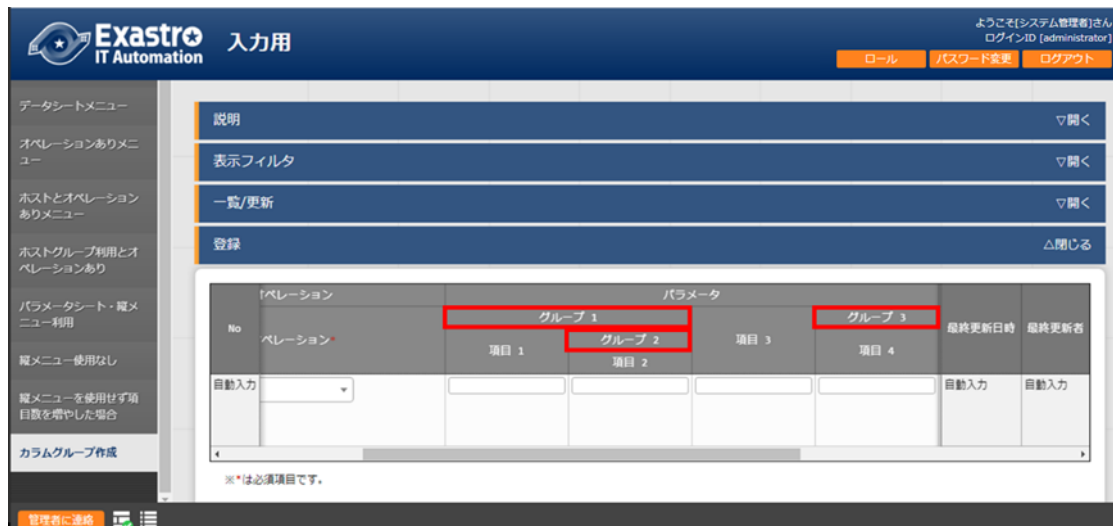


図 6.1-2 入力用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

表 6.1-1 「カラムグループ管理」メニュー設定値

設定箇所	説明
カラムグループ	親カラムグループとカラムグループ名が「/」つなぎで表示されます。 ※「一覧/更新」サブメニューに表示あり ※「更新」「廃止/復活」ボタンあり
親カラムグループ	親カラムグループをプルダウンから選択します。 ※「一覧/更新」サブメニューの「更新」ボタンおよび「登録」サブメニューに表示あり
カラムグループ名	カラムグループ名を入力します。 ※「一覧/更新」サブメニューの「更新」ボタンおよび「登録」サブメニューに表示あり
備考	自由記述欄です。

更新/廃止時に以下のチェックを行います。

- ① そのデータ自身を親カラムグループに選択できません。
- ② 他のデータの親グループに指定されている場合、廃止できません。
- ③ ループ関係になるような親子関係は設定できません。
(親子関係が $A \Rightarrow B \Rightarrow C$ の場合、 C を A の親には指定できません。)

6.2 「メニュー項目作成情報」メニューで設定する項目を登録

インストール時「メニュー項目作成情報」メニューは非表示です。

パラメータシートまたはデータシートのメニューで管理する項目をメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。



図 6.2-1 「メニュー項目作成情報」メニュー

表 6.2-1 「メニュー項目作成情報」メニュー設定値

設定箇所	説明
メニュー名	項目を紐付けするメニュー(パラメータシート/データシート)をプルダウンから選択します。
項目名	メニュー(パラメータシート/データシート)に表示する項目名を入力します。 ※項目名に「/」は使用禁止です。
表示順序	メニューに表示されるカラムの順序を入力します。左から昇順に表示されます。
必須	必須項目にする場合は、「●」をプルダウンから選択します。
一意制約	一意制約項目にする場合は、「●」をプルダウンから選択します。
カラムグループ	所属するカラムグループをプルダウンから選択します。
入力方式	「文字列(単一行)」、「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」、「パスワード」、「ファイルアップロード」、「リンク」のいずれかをプルダウンから選択します。 「文字列(単一行)」を選択した場合、単一行のみ入力可能なテキストボックスの項目になります。 「文字列(複数行)」を選択した場合、複数行が入力可能なテキストボックスの項目になります。 「整数」を選択した場合、整数であることのチェックが行われるテキストボックスの項目になります。 「小数」を選択した場合、小数であることのチェックが行われるテキストボックスの項目になります。 「日時」と「日付」を選択した場合、カレンダー選択の項目になります。 「プルダウン選択」を選択した場合、プルダウンの項目になります。データを登録した際に値がリンクとなり、クリックで元データが登録されているメニューへ遷移できます。遷移後に表示フィルタの検索条件にデータが設定されて検索されますが、検索文字列は先頭から最大 1024 バイトとなります。(「文字列(複数行)」の項目をプルダウン選択にした際のリンクの挙動が変わります。「8.13「文字列(複数行)」の項目を「プルダウン選択」にした際のリンクについて」に詳細を記載しています。)

設定箇所		説明
		<p>また「参照項目を選択」ボタンから、「プルダウン選択」で選んだレコードと同じ行のレコードを横並びで表示させることができます。</p> <p>「パスワード」を選択した場合、入力中の文字列が「●」で隠された状態のテキストボックスの項目になります。(枠内の瞳のアイコンを押下している間のみ、入力した文字列が表示されます。)</p> <p>「ファイルアップロード」を選択した場合、ファイルを参照し選択できるボタンと「事前アップロード」ボタンのある項目になり、ファイルをアップロードすることが可能になります。</p> <p>「リンク」を選択した場合、入力した URL がリンク表示になるテキストボックスの項目になります。</p> <p>「パラメータシート参照」を選択した場合、作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成したメニューの項目を選択し、データを登録した際にオペレーションが一致する項目のレコードが参照されます。また、「パラメータシート参照」は作成対象「データシート」では利用できません。「8.11 入力方式「パラメータシート参照」について」に詳細を記載しています。</p> <p>※代入値自動登録設定の連携対象項目は「文字列(単一行)」、「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「パスワード」、「リンク」になります。</p> <p>「日時」、「日付」、「ファイルアップロード」は連携しません。「プルダウン選択」で選ぶ項目が「日時」、「日付」の場合も連携しません。</p>
文字列 (単一行)	最大バイト数	<p>最大バイト数を入力します。</p> <p>最大は 8192 バイトです。</p> <p>半角英数字なら文字数分となります。</p> <p>全角文字ならば文字数×3+2バイト必要になります。</p> <p>「入力方式」が「文字列(単一行)」の場合、必須です。</p> <p>「入力方式」が「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。</p>
	正規表現	<p>正規表現による入力値チェックを行う場合は、正規表現を入力します。</p> <p>例:0 バイト以上の半角数値項目の場合: /^[0-9]*\$/</p> <p>1 バイト以上の半角英数字の場合: /^[a-zA-Z0-9]+\$/</p> <p>「入力方式」が「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。</p>
	初期値	<p>作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。</p> <p>項目に設定した「最大バイト数」を超える値、「正規表現」に不一致な値は入力できません。</p> <p>また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。</p>
文字列 (複数行)	最大バイト数	<p>最大バイト数を入力します。</p> <p>最大は 8192 バイトです。</p> <p>半角英数字なら文字数分となります。</p> <p>全角文字ならば文字数×3+2バイト必要になります。</p> <p>「入力方式」が「文字列(複数行)」の場合、必須です。</p> <p>「入力方式」が「文字列(単一行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。</p>
	正規表現	<p>正規表現による入力値チェックを行う場合は、正規表現を入力します。</p> <p>例:0 バイト以上の半角数値項目の場合: /^[0-9]*\$/</p> <p>1 バイト以上の半角英数字の場合: /^[a-zA-Z0-9]+\$/</p> <p>「入力方式」が「文字列(単一行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。</p>
	初期値	<p>作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。</p> <p>項目に設定した「最大バイト数」を超える値、「正規表現」に不一致な値は入力できません。</p>

設定箇所		説明
		また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
整数	最小値	最小値を入力します。 -2147483648～2147483647 の整数数値が入力できます。 未入力の場合は-2147483648 になります。 最小値は最大値より小さい数値を入力してください。 「入力方式」が「文字列」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。
	最大値	最大値を入力します。 -2147483648～2147483647 の整数数値が入力できます。 未入力の場合は 2147483647 になります。 最大値は最小値より大きい数値を入力してください。 「入力方式」が「文字列」、「小数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。 項目に設定した「最小値」を下回る値、「最大値」を上回る値は入力できません。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
小数	最小値	最小値を入力します。 -9999999999999999～9999999999999999、整数・小数合計 14 桁以下の小数数値が入力できます。 未入力の場合は-9999999999999999 になります。 最小値は最大値より小さい数値を入力してください。 「入力方式」が「文字列」、「整数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。
	最大値	最大値を入力します。 -9999999999999999～9999999999999999、整数・小数合計 14 桁以下の小数数値が入力できます。 未入力の場合は 9999999999999999 になります。 最大値は最小値より大きい数値を入力してください。 「入力方式」が「文字列」、「整数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。
	桁数	整数・小数の合計桁数上限を入力します。 例: 0.123 は 4 桁 (整数 1 桁、小数 3 桁) 11.1111 は 6 桁 (整数 2 桁、小数 4 桁) 1～14 の整数数値が入力できます。 未入力の場合は 14 になります。 「入力方式」が「文字列」、「整数」、「日時」、「日付」、「プルダウン選択」の場合、入力不可です。
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。 項目に設定した「最小値」を下回る値、「最大値」を上回る値、「桁数」を超える値は入力できません。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
プルダウン選択	メニューグループ:メニュー項目	作成したメニュー(パラメータシート/データシート)から参照する対象をプルダウンから選択します。 「入力方式」が「プルダウン選択」の場合、選択必須です。 ※「プルダウン選択」に表示される対象は「8.7「プルダウン選択」の「選択項目」で利用できる対象について」を参照してください。
	参照項目	「プルダウン選択」の「メニューグループ:メニュー:項目」で選んだ項目に対して、同じメニューに存在する別の項目を横並びで表示させることができます。 対象となる項目は「プルダウン選択/メニューグループ:メニュー:項目」で選択した項目と同じメニューの項目の ID をカンマ区切りで入力することで選択できます。項目の ID は「参照項目情報」(インストール時非表示)メニューの項番が対象となります。 詳細な利用方法は「8.8「プルダウン選択」利用時の「参照項目」について」を参照してください。

設定箇所		説明
		※「参照項目」を利用したメニューについて、表示フィルタの「プルダウン検索」で値にカッコがついた選択肢が表示される場合があります。詳しくは「 8.12「参照項目」「パラメータシート参照」を用いたメニューのプルダウン検索について 」を参照してください。
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで選択されている値を指定します。 項目に設定した「メニューグループ:メニュー:項目」で選択した項目の項番(ID)を半角数字で入力することで指定できます。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
パスワード	最大 バイト数	最大バイト数を入力します。 最大は 8192 バイトです。 半角英数字なら文字数分となります。 全角文字ならば文字数×3+2 バイト必要になります。 「入力方式」が「パスワード」の場合、入力必須です。
ファイル アップ ロード	ファイル 最大バイ ト数	アップロードするファイルの最大バイト数を入力します。 最大は 4294967296 バイトです。 「入力方式」が「ファイルアップロード」の場合、入力必須です。
リンク	最大 バイト数	最大バイト数を入力します。 最大は 8192 バイトです。 半角英数字なら文字数分となります。 全角文字ならば文字数×3+2 バイト必要になります。 「入力方式」が「リンク」の場合、入力必須です。
	初期値	作成したメニューからデータを登録する際、デフォルトで入力欄に入る値を入力します。 項目に設定した「最大バイト数」を超える値は入力できません。 また、作成したメニューからデータを Excel 出力した際に、項目の空欄に初期値に設定した値が入った状態となります。
パラメ ータシ ート参 照	メニュー グルー プ:メニ ュー:項 目	作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成したメニューの項目をプルダウンから選択します。 選択可能な項目は入力方式が「文字列(単一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「日時」「日付」「パスワード」「ファイルアップロード」「リンク」のものが対象です。 ※「パラメータシート参照」を利用したメニューについて、表示フィルタの「プルダウン検索」で値にカッコがついた選択肢が表示される場合があります。詳しくは「 8.12「参照項目」「パラメータシート参照」を用いたメニューのプルダウン検索について 」を参照してください。
説明		項目名をマウスオーバーした際に表示される説明を入力します。
備考		自由記述欄です。

※作成済みのメニューについて、項目のデータを「メニュー項目作成情報」から更新し、「メニュー定義・作成」の「編集」を実行すると、編集実行後のメニューでデータの不整合が起こる場合があります。

作成済みのメニューの項目は「メニュー項目作成情報」から直接データを更新しないでください。

6.3 「メニュー(縦)作成情報」メニューで縦型登録

インストール時「メニュー(縦)作成情報」メニューは非表示です。
 パラメータシートを「メニュー名:開始項目名」欄で選択し、縦メニュー表示の項目数・繰り返し数を指定できます。
 (データシートでは「縦メニューの利用はできません。」)



図 6.3-1 「メニュー(縦)作成情報」メニュー

表 6.3-1 「メニュー(縦)作成情報」メニュー設定値

設定項目	説明
メニュー名:開始項目名	縦管理表示の対象となるパラメータシート、開始項目名をプルダウンから選択します。
項目数	開始項目からの項目数を入力します。
繰り返し数	縦表示の繰り返し数を入力します。 2~99の整数値が入力できます。
備考	自由記述欄です。

例)hosts ファイルへ記載するパラメータを管理

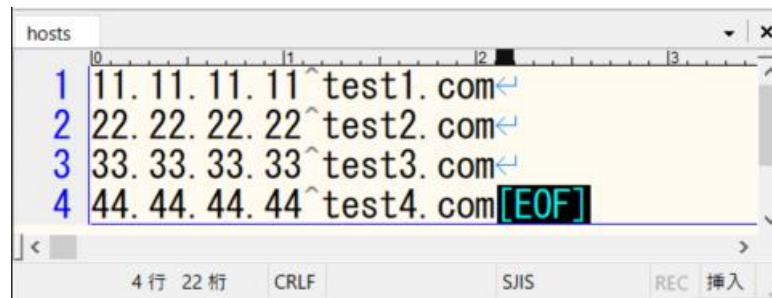


図 6.3-2 hosts ファイル

上記のように IP アドレス+ドメイン名のセットで列挙する際に、「メニュー(縦)作成情報」メニューを利用し、「メニュー名:開始項目名」欄で「host 管理:IP アドレス」を選択、項目数を「2」、繰り返し数を「4」に指定することで、下記のように縦表示変換が行われ視認性が高まり、管理をしやすくなることができます。

履歴	複製	更新	廃止	項番	メニュー名:開始項目名	項目数	繰り返し数	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	複製	更新	廃止	1	パラメータシート・縦メニュー利用:IPアドレス	2	2	アクセス許可ロール		2021/07/16 14:02:15	システム管理者

図 6.3-3 「メニュー(縦)作成情報」メニュー

横表示

例では、開始項目名は下記の赤枠内の最も左の「IPアドレス」を指定しています

No	パラメータ							最終更新日時	最終更新者	
	IPアドレス	ドメイン	IPアドレス[2]	ドメイン[2]	IPアドレス[3]	ドメイン[3]	IPアドレス[4]	ドメイン[4]		
1	11.11.11.11	test1.com	22.22.22.22	test2.com	33.33.33.33	test3.com	44.44.44.44	test4.com	2020/12/16 15:06:06	メニュー縦横変換機能

図 6.3-4 代入値自動登録用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

縦表示

指定した「IPアドレス」から数え、2項目となる「ドメイン名」までを表示しています

No	ホスト名	オペレーション					代入順序	パラメータ		最終更新日時	最終更新者
		ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時		IPアドレス	ドメイン		
1	host01	1	operation01	2020/12/01 15:00	2020/12/01 15:00		1	11.11.11.11	test1.com	2020/12/16 15:05:04	システム管理者
2	host01	1	operation01	2020/12/01 15:00	2020/12/01 15:00		2	22.22.22.22	test2.com	2020/12/16 15:05:18	システム管理者
3	host01	1	operation01	2020/12/01 15:00	2020/12/01 15:00		3	33.33.33.33	test3.com	2020/12/16 15:05:34	システム管理者
4	host01	1	operation01	2020/12/01 15:00	2020/12/01 15:00		4	44.44.44.44	test4.com	2020/12/16 15:06:00	システム管理者

パラメータ2項目に対して縦に4回繰り返して表示しています

図 6.3-5 参照用メニューグループ配下に作成されたパラメータシート

6.4 「一意制約(複数項目)作成情報」メニューで一意制約(複数項目)を登録

インストール時「一意制約(複数項目)作成情報」メニューは非表示です。

作成するメニュー(パラメータシート/データシート)の一意制約(複数項目)をメンテナンス(参照/更新/廃止/復活)できます。



図 6.4-1 「一意制約(複数項目)作成情報」メニュー

一意制約(複数項目)は、作成したメニューにデータを登録する際に、指定した複数の項目で同じレコードの組み合わせが登録できないように制御する機能です。



図 6.4-2 「一意制約(複数項目)作成情報」機能

表 6.4-1 「一意制約(複数項目)作成情報」メニュー設定値

設定項目	説明
メニュー名	一意制約(複数項目)を設定するメニュー(パラメータシート/データシート)をプルダウンから選択します。
一意制約(複数項目)	一意制約を適用する項目の組み合わせを入力します。 「メニュー名」で選択したメニューに存在する項目の ID をカンマ区切りで入力することで組み合わせを作成します。 項目の ID は「メニュー項目作成情報」メニューの「項番」が該当します。

6.5 「メニュー作成実行」メニューでパラメータシート/データシートを作成

インストール時「メニュー作成実行」メニューは非表示です。

「メニュー定義一覧」メニューで指定したメニューグループにメニュー（パラメータシート/データシート）を作成します。

ロールを選択した場合、メニュー定義は選択したロールからのみアクセスが可能となり、作成したメニュー（パラメータシート/データシート）も「ロール/メニュー紐付管理」メニューの設定により選択したロールのみアクセス可能となります。

ロールを一つも選択しなかった場合、メニュー定義はすべてのロールがアクセス可能となり、作成したメニュー（パラメータシート/データシート）は「ロール/メニュー紐付管理」メニューの設定によりシステム管理者のロールと作成ユーザが所属するロールのみアクセス可能となります。

各項目の設定が済んでいるメニュー（パラメータシート/データシート）が「メニュー作成」サブメニューに表示されます。作成したいメニューにチェックを入れて「メニュー作成開始」ボタンを押下してください。



図 6.5-1 「メニュー作成実行」メニュー

既に同じ名称のメニュー(パラメータシート/データシート)が登録されている場合や、「メニュー定義一覧」メニューの項番が同じメニューが存在する場合、上書きでメニューが作成され、入力済みのデータは削除されます。入力済みのデータが必要な場合は、「キャンセル」を選択して、データをバックアップしてください。(入力済みのデータを保持してメニューを編集したい場合は「[5.4 メニュー作成受付後の「メニュー定義・作成」メニューの使い方](#)」の「編集画面」を利用してください。)

確認ダイアログにて「OK」をクリックすると、作成を受け付けます。

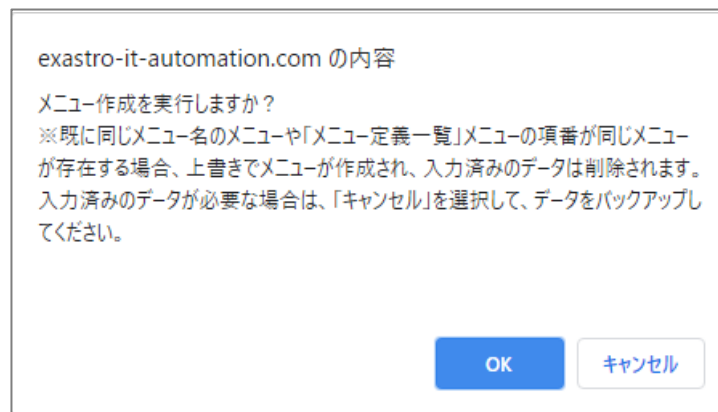


図 6.5-2 メニュー作成確認ダイアログ

「メニュー作成履歴」ボタンを押下すると、「メニュー作成履歴」メニューに遷移し、「項番」でフィルタされた状態が表示されます。



図 6.5-3 「メニュー作成履歴」ボタン

7 運用操作

メニュー作成機能を活用する操作はクライアント PC のブラウザ画面からのユーザ利用による入力だけでなく、システム運用・保守による操作もあります。用意している運用・保守の操作は次の通りです。

- メンテナンス
- ログレベルの変更

7.1 メンテナンス

メニュー作成機能のプロセスの開始/停止/再起動に必要なファイルは以下となります。

表 7-1

説明	対象ファイル名
メニュー作成機能 Web で入力した情報を元にパラメータシートまたはデータシートを作成する機能です。	ky_create_param_menu_execute.service
他メニュー連携メニュー更新機能 「メニュー項目作成情報」メニューの「メニューグループ:メニュー:項目」のプルダウンで表示する項目を作成する機能です。	ky_createOtherMenuLink.service

対象ファイルは「<インストールディレクトリ>/ita-root/backyards/create_param_menu」に配置されており、「/usr/lib/systemd/system」にリンクが作成されています。これらは削除しないでください。

プロセス起動/停止/再起動の方法は次の通りです。

root 権限でコマンドを実行してください。

① プロセス起動

```
# systemctl start ky_create_param_menu_execute.service ↵
```

② プロセス停止

```
# systemctl stop ky_create_param_menu_execute.service ↵
```

③ プロセス再起動

```
# systemctl restart ky_create_param_menu_execute.service ↵
```

7.2 ログレベルの変更

① NORMAL レベルへの変更

以下のファイルの 8 行目「DEBUG」を「NORMAL」に書き換えます。

ログレベル設定ファイル: <インストールディレクトリ>/ita-root/conf/yardconf/ita_env

② DEBUG レベルへの変更

以下のファイルの 8 行目「NORMAL」を「DEBUG」に書き換えます。

ログレベル設定ファイル: <インストールディレクトリ>/ita-root/conf/yardconf/ita_env

書き換え後、プロセス再起動(restart)後に有効になります。

再起動については「[6.1 メンテナンス](#)」を参照してください。

ログファイルの出力先: <インストールディレクトリ>/ita-root/logs/backyardlogs

8 付録

8.1 PHP ファイルの配置

※ITA の web サーバが BackYard と同じサーバにある場合は、これまでの操作でパラメータ管理メニューが追加されます。しかし web サーバが BackYard と別のサーバにある場合、自動で資材の配置がされないため、作成したメニューが表示されません。PHP 資材を手動にて web サーバに配置し、web 上に表示できるようにする必要があります。

PHP ファイルの配置状態

```
└ita-root
  └webconfs
    └sheets
      └XXXXXXXXXX_loadTable.php (XXXXXXXXXX:メニューID)
```

PHP ファイルの配置方法

(1) 「メニュー作成管理」から zip ファイルをダウンロードします。

項番	メニュー名	ステータス	メニュー資材	作成したメニュー	備考	最終更新日時	最終更新者
1	管理メニュー	完了	000000001.zip	作成したメニュー		2020/01/21 16:05:48	メニュー作成機能

図 8.1-1

(2) Zip ファイルを解凍後、WinSCP 等を使用して root ユーザ権限で web サーバの~/ita-root/webconfs/users/に「XXXXXXXXXX_loadTable.php」ファイルを配置します。

※XXXXXXXXXX:メニューID(左 0 埋め数値 10 桁)

※「XXXXXXXXXX_loadTable.php」が複数ある場合はすべて配置します。

8.2 メニュー・テーブル紐付

作成したメニューとDBのテーブルの紐付けを表示するメニューです。

インストール時は非表示のメニューです。

BackYardが利用するメニューで、ユーザが操作することはありません。

メニュー作成後に紐付けを直接変更しても、追隨して本メニューが変更されることはありません。

履歴	項目	メニューグループ:メニュー	テーブル名	主キー	テーブル名(履歴)	アクセス	最終更新日時	最終更新者
追加	2	2100011611:代入値自動登録用:4:データシートメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0001_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0001_H_3NL		2021/04/09 10:09:46	メニュー作成機能
追加	3	2100011612:参照用:5:データシートメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0001_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0001_H_3NL		2021/04/09 10:09:46	メニュー作成機能
追加	4	2100011610:入力用:3:データシートメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0001_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0001_H_3NL		2021/04/09 10:11:29	メニュー作成機能
追加	5	2100011610:入力用:6:オペレーションありメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0002_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0002_H_3NL		2021/04/09 10:32:10	メニュー作成機能
追加	6	2100011611:代入値自動登録用:7:オペレーションありメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0002_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0002_H_3NL		2021/04/09 10:32:10	メニュー作成機能
追加	7	2100011612:参照用:8:オペレーションありメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0002_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0002_H_3NL		2021/04/09 10:32:10	メニュー作成機能
追加	8	2100011610:入力用:9:ポストとオペレーションありメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0003_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0003_H_3NL		2021/04/09 10:33:38	メニュー作成機能
追加	9	2100011611:代入値自動登録用:10:ポストとオペレーションありメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0003_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0003_H_3NL		2021/04/09 10:33:38	メニュー作成機能
追加	10	2100011612:参照用:11:ポストとオペレーションありメニュー	F_KY_AUTO_TABLE_0003_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0003_H_3NL		2021/04/09 10:33:38	メニュー作成機能
追加	11	2100011610:入力用:12:ポストグループ利用とオペレーションあり	F_KY_AUTO_TABLE_0004_HG	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0004_HG_3NL		2021/04/09 11:08:39	メニュー作成機能
追加	12	2100011611:代入値自動登録用:13:ポストグループ利用とオペレーションあり	F_KY_AUTO_TABLE_0004_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0004_H_3NL		2021/04/09 11:08:39	メニュー作成機能
追加	13	2100011612:参照用:14:ポストグループ利用とオペレーションあり	F_KY_AUTO_TABLE_0004_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0004_H_3NL		2021/04/09 11:08:39	メニュー作成機能
追加	14	2100011611:代入値自動登録用:16://パラメータシート・短メニュー利用	F_KY_AUTO_TABLE_0005_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0005_H_3NL		2021/04/09 13:59:33	メニュー作成機能
追加	15	2100011612:参照用:17://パラメータシート・短メニュー利用	F_KY_AUTO_TABLE_0005_H	ROW_ID	F_KY_AUTO_TABLE_0005_H_3NL		2021/04/09 13:59:33	メニュー作成機能

図 8.2-1

表 8.2-1

項目名	説明
メニューグループ:メニュー	DBに紐付いているメニュー名です。
テーブル名	作成したテーブル名です。
主キー	作成したテーブルの主キーです。
テーブル名(履歴)	作成した履歴テーブル名です。
備考	自由記述欄です。

8.3 他メニュー連携

作成したメニューのメニューグループ、メニュー、項目、DB のテーブルの紐付けを表示します。

インストール時は非表示のメニューです。

BackYard が利用するメニューで、ユーザが操作することはありません。

メニュー作成後に紐付けを直接変更しても、追隨して本メニューが変更されることはありません。

種別	項目	メニューグループ	メニュー	項目名	テーブル名	主キー	カラム名	最終更新日時	最終更新者
標準	2,000,000,001	基本コンソール	機器一覧	ホスト名	C_STM_LIST	SYSTEM_ID	HOSTNAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,002	基本コンソール	機器一覧	IPアドレス	C_STM_LIST	SYSTEM_ID	IP_ADDRESS	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,003	Ansible共通	ファイル管理	ファイル埋込変数名	B_ANS_CONTENTS_FILE	CONTENTS_FILE_ID	CONTENTS_FILE_VARS	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,004	Ansible共通	テンプレート管理	テンプレート埋込変数名	B_ANS_TEMPLATE_FILE	ANS_TEMPLATE_ID	ANS_TEMPLATE_VARS	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,005	管理コンソール	メニュー管理	メニュー名称	D_MENU_LIST	MENU_ID	MENU_PULLDOWN	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,006	管理コンソール	ユーザ管理	ログインID	A_ACCOUNT_LIST	USER_ID	USERNAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,007	基本コンソール	オペレーション一覧	オペレーション名	C_OPERATION_LIST	OPERATION_NO_UAIP	OPERATION_NAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,008	基本コンソール	Movement一覧	Movement名	C_PATTERN_PER_ORCH	PATTERN_ID	PATTERN_NAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,009	Symphony	Symphonyクラス一覧	Symphony名称	C_SYMPHONY_CLASS_MNG	SYMPHONY_CLASS_NO	SYMPHONY_NAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,010	Conductor	Conductorクラス一覧	Conductor名称	C_CONDUCTOR_EDIT_CLASS_MNG	CONDUCTOR_CLASS_NO	CONDUCTOR_NAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト
標準	2,000,000,011	ホストグループ管理	ホストグループ一覧	ホストグループ名	F_HOSTGROUP_LIST	ROW_ID	HOSTGROUP_NAME	2015/04/01 10:00:00	データポータビリティプロジェクト

図 8.3-1

表 8.3-1

項目名	説明
メニューグループ	DB に紐付いているメニューグループ名です。
メニュー	作成したパラメータシートまたはデータシートのメニュー名です。
項目名	紐付いている項目名です。
テーブル名	作成したテーブル名です。
主キー	作成したテーブルの主キーです。
カラム名	紐づいている項目名です。
備考	自由記述欄です。

8.4 メニュー縦横変換管理

作成した縦メニューから横変換されるメニューの紐付けを表示します。

インストール時は非表示のメニューです。

BackYard が利用するメニューで、ユーザが操作することはありません。

メニュー作成後に紐付けを直接変更しても、追隨して本メニューが変更されることはありません。



図 8.4-1

表 8.4-1

項目名	説明
変換元メニュー名	変換元の縦メニュー名です。
変換先メニュー名	変換先の横メニュー名です。
用途	シートのメニューの用途です。
繰り返し開始カラム名	横メニューの繰り返し開始項目名です。
項目数	横メニューの項目数です。
繰り返し数	横メニューの繰り返し数です。
縦横変換済みフラグ	縦横変換済みフラグを指定します。
備考	自由記述欄です。

8.5 選択 1

プルダウン選択で利用する項目を管理するメニューです。(1 択用)

インストール時は非表示のメニューです。

ユーザが操作することはありません。

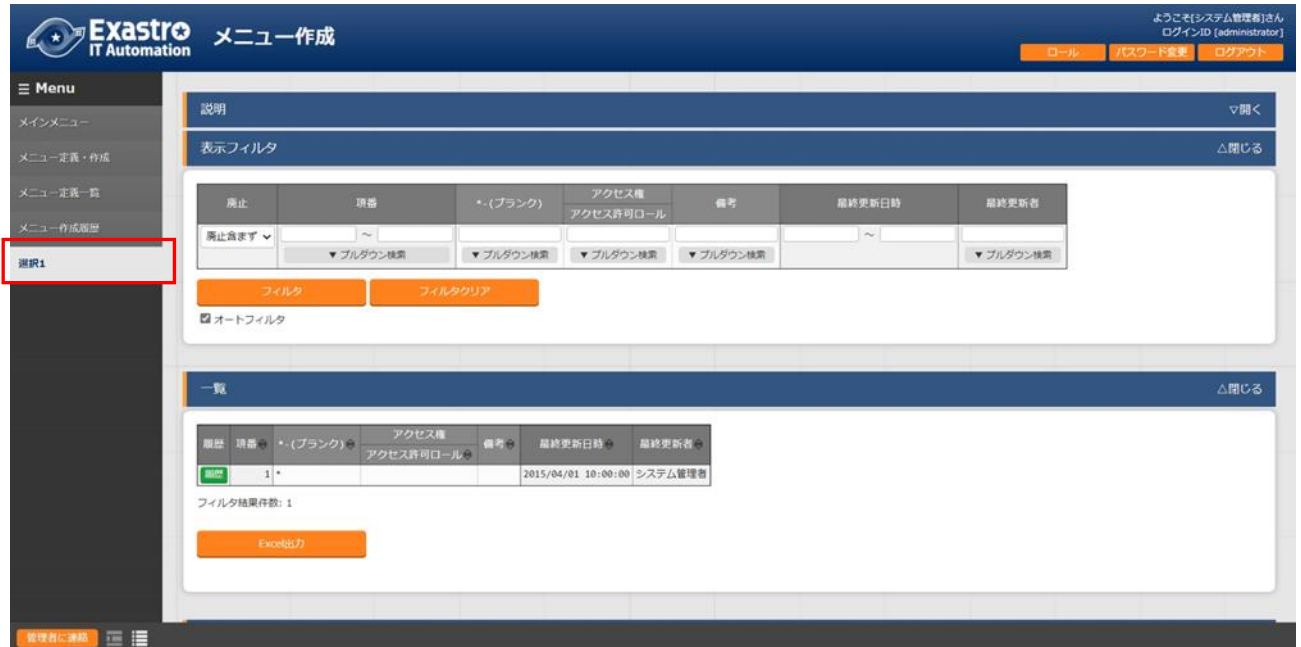


図 8.5-1

表 8.5-1

項目名	説明
-(Blank)	プルダウン選択で「」を利用するための項目です。

8.6 選択 2

プルダウン選択で利用する項目を管理するメニューです。(2 択用)

インストール時は非表示のメニューです。

ユーザが操作することはありません。

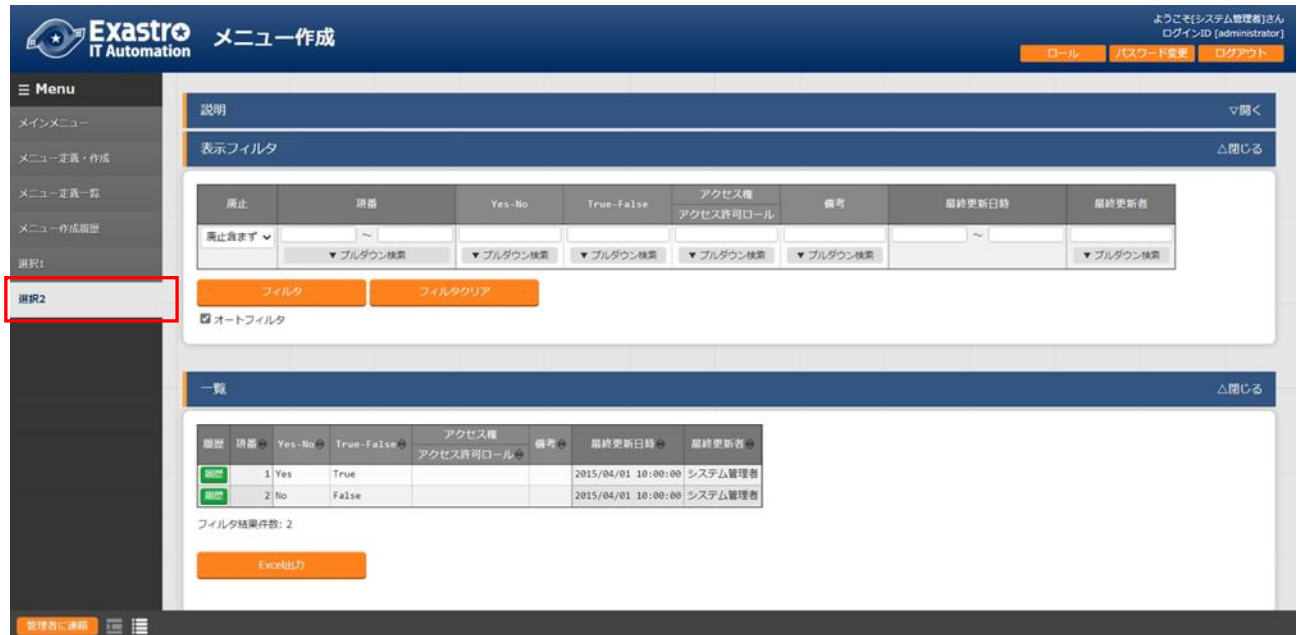


図 8.6-1

表 8.6-1

項目名	説明
Yes-No	プルダウン選択で「Yes」または「No」を利用するための項目です。
True-False	プルダウン選択で「True」または「False」を利用するための項目です。

8.7 「プルダウン選択」の「選択項目」で利用できる対象について

項目「プルダウン選択」の「選択項目」で利用できる対象は以下の通りです。

表 8.7-1

メニューグループ	メニュー	項目	備考
管理コンソール	メニュー管理	メニューグループ名称+メニュー名称	
	ユーザ管理	ログイン ID	
基本コンソール	機器一覧	ホスト名	
		IP アドレス	
	オペレーション一覧	オペレーション名	
	Movement 一覧	Movement 名	
Symphony	Symphony クラス一覧	Symphony 名称	
Conductor	Conductor クラス一覧	Conductor 名称	
Ansible 共通	ファイル管理	ファイル埋込変数名	Ansible ドライバをインストールしている場合のみ
	テンプレート管理	テンプレート埋込変数名	
ホストグループ管理	ホストグループ一覧	ホストグループ名	ホストグループ機能をインストールしている場合のみ
メニュー作成	選択 1	*-(ブランク)	
メニュー作成	選択 2	True-False	
メニュー作成	選択 2	Yes-No	

上記とは別に『「メニュー作成」メニューグループの機能で作成したメニュー（パラメータシート/データシート）の入力方式が「文字列(単一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「日時」「日付」「リンク」のいずれか、かつ「必須」かつ「一意制約」である項目』も対象となります。

8.8 「プルダウン選択」利用時の「参照項目」について

項目に「プルダウン選択」を利用する際、「プルダウン選択」で選択した値を元に、同じメニューにあるほかの項目を横並びで表示させることができます。

「メニュー作成」メニューグループの「メニュー定義・作成」メニューにて、項目に「プルダウン選択」を設定した際、「参照項目を選択」ボタンを押下すると、「選択項目」のメニューにあるほかの項目が選択できる画面が表示されます。

横並びで表示させたい対象の項目にチェックを入れ、「決定」を押下すると「参照項目」に値が挿入されます。

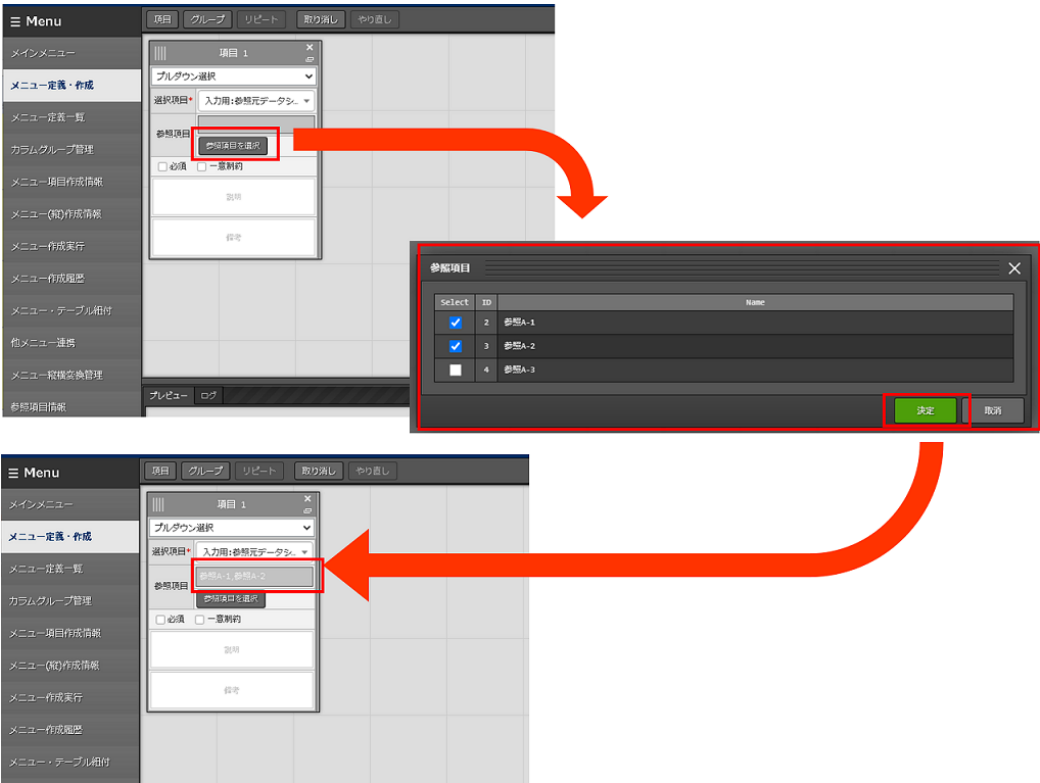


図 8.8-1

「参照項目」として選択できる項目は、以下の通りです。

表 8.8-1

選択項目	メニュー	項目	備考
管理コンソール:メニュー管理:メニュー名称	メニュー管理	メニューID	
管理コンソール:ユーザ管理:ログイン ID	ユーザ管理	メールアドレス	
基本コンソール:機器一覧:ホスト名	機器一覧	IP アドレス	
		ログインユーザ ID	
		ログインパスワード	

上記とは別に『「選択項目」が「メニュー作成」メニューグループの機能で作成したメニューのとき、「選択項目」で選んだメニューが持つほかの項目で入力方式が「文字列(単一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「日時」「日付」「パスワード」「ファイルアップロード」「リンク」のいずれかである項目』も対象となります。

「プルダウン選択」に「参照項目」を設定した状態でメニューを作成すると、「入力用」メニューグループに作成されたメニューについて、「登録」からは「プルダウン選択」項目の欄しか表示されませんが、「一覧/更新」では「プルダウン選択」で設定した値と同じ行にあるレコードが横並びで表示されるようになります。

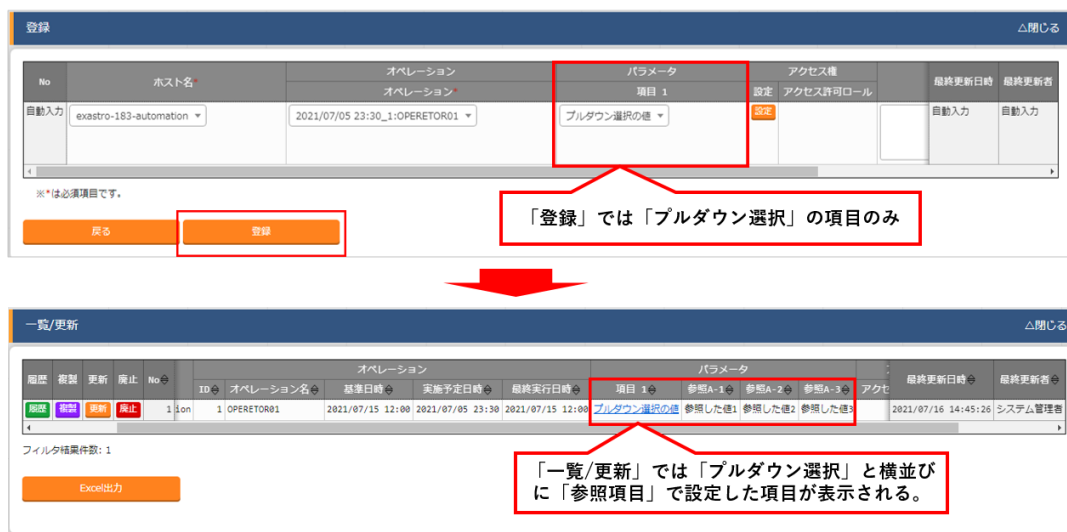


図 8.8-2

「代入値自動登録用」メニューグループおよび「参照用」メニューグループに作成されるメニューで「一覧」を表示した際も、「参照項目」の値が横並びに表示された状態となります。

「代入値自動登録用」メニューグループに作成されたメニューにて表示される「参照項目」は、各ドライバの「代入値自動登録設定」にて通常の値と同様に利用できます。

また「縦メニュー利用」時に「参照項目」を設定した「プルダウン選択」をレポート枠内に入れた場合、「参照項目」も通常の項目と同様に繰り返し表示されます。

8.9 参照項目情報

「メニュー定義・作成」のプルダウン選択で利用できる参照項目の情報を表示します。

インストール時は非表示のメニューです。

BackYard が利用するメニューで、ユーザが操作することはありません。

図 8.9-1

表 8.9-1

項目名	説明
メニュー	参照元となる対象のメニュー名です。
表示順序	参照項目選択時における表示順序です。昇順に表示されます。
テーブル名	参照元となる対象のテーブル名です。
主キー	参照元となる対象のテーブルの主キーです。
カラム名	参照元となる対象のカラム名です。
項目名	参照元となる対象の項目名です。
カラムグループ	参照元となる対象が所属するカラムグループです。
説明	参照元となる対象の説明です。
入力方式	参照元となる対象の入力方式です。
Sensitive 設定	参照元となる対象が「パスワード」の場合、ON となります。
既存メニュー	インストール時デフォルトで存在するメニューであるかどうかのフラグです。
備考	自由記述欄です。

8.10 縦メニュー利用時のリポート対象外の項目について

縦メニューを利用したメニューでリポートの対象外とした項目がある場合の動作について説明します。
 入力用メニューグループでデータを登録した際、代入順序が若い番号のデータが代入値自動登録用メニューグループでの設定値として採用されます。

リポート対象外の項目

入力用メニューグループでの登録例

代入順序	項目 1	項目 2	項目 3
1	データA-1	データA-2	データA-3
2	データB-1	データB-2	データB-3

代入値自動登録用メニューグループでの表示

パラメータ				
項目 1	項目 2	項目 1[2]	項目 2[2]	項目 3
データA-1	データA-2	データB-1	データB-2	データA-3

リポート対象外のデータは、代入順序が若いほうが採用される

図 8.10-1

8.11 入力方式「パラメータシート参照」について

入力方式「パラメータシート参照」は作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成したメニューの項目を選択し、データを登録した際にオペレーションが一致する項目のレコードが参照されます。

「パラメータシート参照」を使うことにより、「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成した Terraform ドライバ用パラメータを「パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)」の Ansible ドライバ用パラメータとして利用することができます。

「パラメータシート参照」の項目は利用する際に以下のルールがあります。

- ・ 「作成対象」が「データシート」の場合は利用できません。
- ・ 「パラメータシート参照」項目で選択できる参照元の項目の種類(入力方式)は以下となります。
「文字列(単一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「日時」「日付」「パスワード」「ファイルアップロード」「リンク」
ただし、「ファイルアップロード」を参照した場合はアップロードしたファイルの「ファイル名」のみの参照となります。(アップロードしたファイルのデータ自体は参照されません。)
- ・ 参照した値はリンクとなり、クリックすることで参照元のメニュー(代入値自動登録用のメニュー)へ遷移できます。
- ・ 参照する値について、指定したオペレーションが参照元のメニューのデータに無い場合は『ID 変換失敗(オペレーション ID)』という表示になります。
- ・ 参照した値は代入値自動登録で利用できます。
参照元の項目の入力方式が「文字列(単一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「パスワード」「ファイルアップロード」「リンク」が対象です。
- ・ 「一意制約(複数項目)」の対象にはできません。

以下に入力方式「パラメータシート参照」を利用したメニューを例として記載します。

履歴	複製	更新	廃止	No.	ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	項目 1	項目 2	項目 3	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
複製	複製	更新	廃止	1	1	Operation_001	2021/04/01 12:00	2021/04/01 12:00		あああ	いはい	ううう			2021/09/22 15:20:23	システム管理者
複製	複製	更新	廃止	2	2	Operation_002	2021/05/01 12:00	2021/05/01 12:00		かかか	ききき	くくく			2021/09/22 15:20:35	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

Excel出力

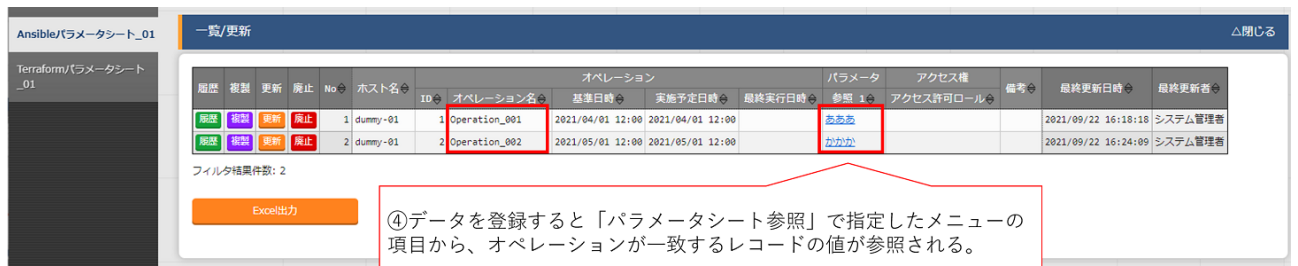
①作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」のメニューを作成し、データを登録。



②入力方式「パラメータシート参照」の項目で、作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」のメニューと項目を選択できます。
①のメニューより「項目 1」を指定し、メニューを作成。



③作成したメニューからデータを登録。
※「パラメータシート参照」の項目は登録の際は非表示



④データを登録すると「パラメータシート参照」で指定したメニューの項目から、オペレーションが一致するレコードの値が参照される。

図 8.11-1

8.12 「参照項目」「パラメータシート参照」を用いたメニューのプルダウン検索について

プルダウン選択の「参照項目」や「パラメータシート参照」を用いたメニューについて、表示フィルタの「プルダウン検索」押下時に同じ値にカッコがついて表示される場合があります。カッコの中には参照元の項番(No)の ID が入ります。

この場合「プルダウン検索」で選択した値について、参照元の項番(No)の ID と値が一致しているレコードが表示対象となります。

参照元のメニューにて『項番は違うが値が同じ』対象を参照した場合にこの状態になります。

以下に『親メニュー(参照元メニュー)』と『子メニュー(「参照項目」を利用したメニュー)』を例として記載します。

親項目	参照 1	参照 2
文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)
最大バイト数* 128	最大バイト数* 128	最大バイト数* 128
正規表現	正規表現	正規表現
初期値	初期値	初期値
<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 一意制約	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 一意制約	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 一意制約
説明	説明	説明
番号	番号	番号

①参照元となる親メニューを作成。

履歴	複製	更新	廃止	No	親項目	参照 1	参照 2	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	複製	更新	廃止	1	master1	AAA	BBB			2021/11/10 10:49:11	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	2	master2	AAA	CCC			2021/11/10 10:49:23	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

Excel出力

②項目「参照 1」に値が「AAA」のレコードを複数登録。

③プルダウン選択で「親メニュー：親項目」を選択し、参照項目で「参照 1, 参照 2」を指定した子メニューを作成。



No	選択 1	参照 1	参照 2	アクセス権	備考	最終更新日
1	Master1	AAA	BBB			2021/11/10 10:50:22 システム管理者
2	Master2	AAA	CCC			2021/11/10 10:50:29 システム管理者

⑤「プルダウン検索」を押下すると、値「AAA」にカッコがつき、カッコの中には親メニューから参照したレコードの「No」のIDが入る。

④プルダウン選択でそれぞれ「Master1」「Master2」を選択したレコードを作成。「参照 1」ではどちらも値「AAA」が参照される。



表示フィルタ

子メニュー

廃止	No	選択 1	参照 1	参照 2	アクセス権 アクセス許可ロール	備考	最終更新
廃止含まず	~	▼プルダウン検索	× AAA(1)	▼プルダウン検索	▼プルダウン検索	▼プルダウン検索	~

フィルタ フィルタクリア

オートフィルタ

一覧/更新

履歴	複製	更新	廃止	No	選択 1	参照 1	参照 2	アクセス権 アクセス許可ロール	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	複製	更新	廃止	1	Master1	AAA	888			2021/11/10 10:50:22	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

Excel

⑥ 「プルダウン検索」で「AAA(1)」を指定すると、親メニューで「Noが1」かつ「参照 1がAAA」のレコードがフィルタの表示対象となる。

図 8.12-1

8.13 「文字列(複数行)」の項目を「プルダウン選択」にした際のリンクについて

入力方式が「プルダウン選択」の項目にデータを登録した際に値がリンクとなり、クリックすることで参照元データが登録されているメニューへ遷移し、表示フィルタの検索欄に登録された値が入った状態でフィルタが適用されます。

このとき、「プルダウン選択」の選択項目の入力方式が「文字列(複数行)」である場合、表示フィルタの検索欄には値の一行目の文字列のみが入った状態でフィルタが適用されます。

一覧/更新

履歴	複製	更新	廃止	No	複数行カラムのプルダウン	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	複製	更新	廃止		あああ いいい ううう	アクセス許可ロール		2021/11/10 14:21:36	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

Excel出力

①「プルダウン選択」の選択項目が「文字列(複数行)」の項目でデータを登録し、リンクで表示された値をクリック。

説明

表示フィルタ

廃止	No	複数行カラム	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
廃止含まず	~	あああ	アクセス許可ロール		~	

フィルタ

フィルタクリア

オートフィルタ

②参照元のデータが登録されているメニューに遷移。その際、表示フィルタの検索欄に登録された値の1行目の文字列が入り、フィルタが適用される。

一覧/更新

履歴	複製	更新	廃止	No	複数行カラム	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	複製	更新	廃止	1	あああ いいい ううう	アクセス許可ロール		2021/11/10 14:21:06	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

Excel出力

図 8.13-1

8.14 Excel ファイルアップロードによるメニュー作成について

以下にメニュー作成を Excel ファイルアップロードにより行う手順を記載します。

➤ メニュー作成前の設定

- ・ 「管理コンソール」メニューグループ>「ロール・メニュー紐付管理」メニューで以下のレコードを登録してください。
- ・ 「システム管理者」ロールの場合はレコードが「廃止」された状態で登録されているので「復活」した上で、紐付を以下の通りに「更新」してください。

表 8.14-1 ロール・メニュー紐付管理画面

メニューグループ		メニュー		紐付
ID	名称	ID	名称	
2,100,011,601	メニュー作成	2,100,160,001	メニュー定義一覧	メンテナンス可
2,100,011,601	メニュー作成	2,100,160,008	カラムグループ管理	メンテナンス可
2,100,011,601	メニュー作成	2,100,160,002	メニュー項目作成情報	メンテナンス可
2,100,011,601	メニュー作成	2,100,160,009	メニュー(縦)作成情報	メンテナンス可
2,100,011,601	メニュー作成	2,100,160,018	一意制約(複数項目)作成情報	メンテナンス可
2,100,011,601	メニュー作成	2,100,160,003	メニュー作成実行	閲覧のみ

➤ メニュー作成の手順

(1) 表 8.14-2 の各メニューにて、Excel ファイルアップロードを行います。

(Excel ファイルのアップロードの手順は「Exastro-ITA_利用手順マニュアル_管理コンソール」を参照してください。)

表 8.14-2 メニュー作成の手順

操作順	メニューグループ	メニュー	必須	備考
1	メニュー作成	メニュー定義一覧	○	メニューグループは作成する必要があります。
2	メニュー作成	カラムグループ管理	×	カラムグループを利用する際に必要となります。
3	メニュー作成	メニュー項目作成情報	○	
4	メニュー作成	メニュー(縦)作成情報	×	縦メニューを利用する際に必要となります。
5	メニュー作成	一意制約(複数項目)作成情報	×	一意制約(複数項目)を利用する際に必要となります。

(2) 「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー作成実行」メニューにて、手順(1)の「メニュー定義一覧」メニューで登録した対象のメニューを選択し「メニュー作成開始」を押下してください。

(3) 「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー作成履歴」メニューにて、作成したメニューを確認してください。

➤ メニュー作成の例

以下に Excel ファイルアップロードによるメニュー作成の例を記載します。

◇ 作成するメニュー

表 8.14-3 作成するメニュー

メニュー名	作成対象	カラムグループ	縦メニュー	一意制約(複数項目)
sampleA	パラメータシート(ホスト/オペレーションあり)	利用あり	利用あり	利用あり

※「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー定義・作成」メニューで作成する場合(画面上で作成する場合)は以下になります。

The screenshot shows a software interface for menu creation. It features a grid of parameter settings for 'dataA' with columns for '項目1' through '項目4'. Each cell contains dropdown menus for data types (e.g., '文字列(単一行)'), numeric values for '最大バイト数' (32), and checkboxes for '正規表現', '初期値', '必須', and '一意制約'. A sidebar on the right contains configuration options like 'メニュー名', '作成対象', and '一意制約'. Below the grid is a table with columns for '最終実行日時', '項目1-4', and '備考'. A red box highlights a portion of this table, which is expanded into a larger table below.

No	オペレーション				パラメータ								備考	最終更新日時	最終更新者			
	ホスト名	オペレーション名	基準日時	実施予定日	dataA		項目3	項目4	dataA		項目3[2]	項目4[2]						
1	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	2020/01/01 00:00:00	システム管理者
2	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	2020/01/01 00:00:00	システム管理者
3	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	文字列(単一行)	2020/01/01 00:00:00	システム管理者

図 8.14-1

◇ メニュー作成に必要な Excel ファイル

- ① 「メニュー定義一覧」Excel ファイル
- ② 「カラムグループ管理」Excel ファイル
- ③ 「メニュー項目作成情報」Excel ファイル
- ④ 「メニュー(縦)作成情報」Excel ファイル
- ⑤ 「一意制約(複数項目)作成情報」Excel ファイル

◇ メニュー作成作業フロー

- ① 「メニュー定義一覧」Excel ファイルに下記の表データを入力・保存し、アップロードします。

「メニュー定義一覧」Excel ファイル

注意事項	実行処理種別	実行種別	メニュー名	作成対象	表示順序	用途	縦メニュー利用	入力用メニューグループ	代入値自動登録用メニューグループ	参照用メニューグループ	ユーザ
●: 必須 ○: 任意 ×: 編集不可	登録	●	●	●	○	○	○	●	○	○	×
	更新	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
	廃止	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	復活	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
OK: 改行OK/NG: 改行不可	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
その他注意事項	必須確認を選択してください	縦メニュー名を入力してください。	「パラメータシート」を参照すると、代入値自動登録設定に設定される「パラメータシートメニュー」を参照します。「シート」を参照すると、代入値自動登録設定に設定されない「シートメニュー」を参照します。	メニューグループに表示順序を入力します。再参照すると、再参照されたメニューが表示されます。	縦メニューを利用する場合は、縦メニューの用途を入力します。	入力用メニューグループの作成先メニューグループを入力します。	代入値自動登録用メニューグループの作成先メニューグループを入力します。	参照用メニューグループの作成先メニューグループを入力します。	この欄で一度もメニューを指定していないメニューは「表示」		
	実行処理種別	メニュー名	作成対象	表示順序	用途	縦メニュー利用	入力用メニューグループ	代入値自動登録用メニューグループ	参照用メニューグループ		
	登録	sampleA	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	1	ホスト用	●	入力用	代入値自動登録用	参照用		

実行処理種別	メニュー名	作成対象	表示順序	用途
登録	sampleA	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	1	ホスト用
縦メニュー利用	入力用メニューグループ	代入値自動登録用メニューグループ	参照用メニューグループ	
●	入力用	代入値自動登録用	参照用	

図 8.14-2

② 「カラムグループ管理」Excel ファイルに下記の表データを入力・保存し、アップロードします。

「カラムグループ管理」Excel ファイル

注意事項	実行処理種別	実行種別	親カラムグループ	カラムグループ名	アクセス権付与許可	最新更新日時	最新更新者
●: 必須 ○: 任意 ×: 編集不可	登録	●	○	●	○	×	×
	更新	×	×	×	○	×	×
	廃止	×	×	×	×	×	×
	復活	×	×	×	×	×	×
OK: 改行OK/NG: 改行不可	NG	NG	NG	NG	OK	NG	NG
その他注意事項	必須確認を選択してください	親カラムグループをプルダウンから選択します。	カラムグループ名を入力します。	レコードへのアクセスを許可しているロール、権限のロール。	レコードの最新更新日時、更新者。ログインユーザのIDが自動的に登録される。編集不可。		
	実行処理種別	親カラムグループ	カラムグループ名	アクセス権付与許可	最新更新日時	最新更新者	
	登録		dataA				

実行処理種別	カラムグループ名
登録	dataA

図 8.14-3

③ 「メニュー項目作成情報」Excel ファイルに下記の表データを入力・保存し、アップロードします。

「メニュー項目作成情報」Excelファイル

注意事項	実行処理種別	実行可能	メニュー名	項目名	表示順序	必須	一意制約	カラムグループ	入力方式	文字列(単一行)		文字	
										最大バイト数	検索可能		最大バイト
●: 必須	登録	x	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	
○: 任意	更新	x	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	
x: 編集不可	廃止	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	復活	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
OK: 改行OK/NG: 改行不可		NG/NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	
その他注意事項	処理種別を選択してください	廃止	目録	パラメータを紐付けするメニューをプルダウンから選択します。	メニューに表示される項目名を入力します。	メニューに表示されるカラムの順序を入力します。左から昇順に表示されます。	必須項目の場合は「●」を設定します。	一意制約をつける場合は「●」を設定します。	所属するカラムグループを選択します。	「文字列(単一行)」、「文字列(複数行)」、「整数」、「小数」、「日時」、「プルダウン」	最大バイト数を入力します。[最大値]8192/バイト 半角英数字なら文字数分となります。	正規表現で入力制限を行います。	最大バイト数を設定します。
	実行処理種別		メニュー名	項目名	表示順序	必須	一意制約	カラムグループ	入力方式	最大バイト数			
	登録		sampleA	項目1	0			dataA	文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目2	1			dataA	文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目3	2				文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目4	3				文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目1[2]	4			dataA	文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目2[2]	5			dataA	文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目3[2]	6				文字列(単一行)	32			
	登録		sampleA	項目4[2]	7				文字列(単一行)	32			

実行処理種別	メニュー名	項目名	表示順序	カラムグループ	入力方式	最大バイト数
登録	sampleA	項目1	0	dataA	文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目2	1	dataA	文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目3	2		文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目4	3		文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目1[2]	4	dataA	文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目2[2]	5	dataA	文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目3[2]	6		文字列(単一行)	32
登録	sampleA	項目4[2]	7		文字列(単一行)	32

図 8.14-4

- ④ 「メニュー(縦)作成情報」Excel ファイルに下記の表データを入力・保存し、アップロードします。

「メニュー(縦)作成情報」Excelファイル

注意事項	実行処理種別	実行可能	メニュー名-開始項目名	項目数	繰り返し数	アクセス権付与許可	最終更新日時	最終更新者	
●: 必須	登録	x	●	●	●	○	x	x	
○: 任意	更新	x	●	●	●	○	x	x	
x: 編集不可	廃止	x	x	x	x	x	x	x	
	復活	x	x	x	x	○	x	x	
OK: 改行OK/NG: 改行不可		NG/NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	
その他注意事項	処理種別を選択してください	廃止	目録	作成する縦メニューの元になるメニューと、繰り返し項目の開始の項目名を指定します。	項目数を指定します。	繰り返し数を指定します。	レコードへのアクセスを許可しているロール。複数のロール。	レコードの最終更新日時。更新可否判定に使用。目録登録のため編集不可。編集不可。	更新者。ログインユーザーのIDが自動的に登録される。編集不可。
	実行処理種別		メニュー名-開始項目名	項目数	繰り返し数	アクセス権	最終更新日時	最終更新者	
	登録		sampleA: dataA/項目1	4	2				

実行処理種別	メニュー名-開始項目名	項目数	繰り返し数
登録	sampleA: dataA/項目1	4	2

図 8.14-5

- ⑤ 「一意制約(複数項目)作成情報」Excel ファイルに下記の表データを入力・保存し、アップロードします。

「一意制約(複数項目)作成情報」Excelファイル

注釈事項	実行処理種別	メニュー名	一意制約(複数項目)	アイテムID	一意制約(複数項目)	最終更新日時	最終更新者
●: 必須 ○: 任意 ×: 編集不可	登録	sampleA	1778,1779				
	更新	sampleA	1778,1779				
	廃止	sampleA	1778,1779				
	復活	sampleA	1778,1779				
OK: 実行OK/NG: 実行不可	NG	sampleA	1778,1779				
その他注意事項	実行処理種別	メニュー名	一意制約(複数項目)	アイテムID	一意制約(複数項目)	最終更新日時	最終更新者
※取得情報を確認してください	登録	sampleA	1780,1781				
	登録	sampleA	1780,1781				

実行処理種別 | メニュー名 | 一意制約(複数項目)

登録	sampleA	1778,1779
登録	sampleA	1780,1781

履歴 | 複製 | 更新 | 廃止 | 項番 | メニュー名 | 項目名 | 表示順序 | 必須 | 一意制約 | カラムグループ | 入力方式

履歴	複製	更新	廃止	1,778	sampleA	項目1	0			dataA	文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,779	sampleA	項目2	1			dataA	文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,780	sampleA	項目3	2				文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,781	sampleA	項目4	3				文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,782	sampleA	項目1[2]	4			dataA	文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,783	sampleA	項目2[2]	5			dataA	文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,784	sampleA	項目3[2]	6				文字列(単一行)
履歴	複製	更新	廃止	1,785	sampleA	項目4[2]	7				文字列(単一行)

「一意制約(複数項目)」では、対象となる項目の ID をカンマ区切りで入力する。
項目の ID は③で登録した「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー項目作成情報」メニューの「項番」から確認できる。

「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー項目作成情報」メニューでの表示。

図 8.14-6

- ⑥ 「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー作成実行」メニューにて、「sampleA」を選択し「メニュー作成開始」ボタンを押下すると、確認ダイアログが表示されるので「OK」を押下すると、メニュー作成が受け付けされます。

メニュー作成確認ダイアログ

メニュー作成を実行しますか？

※既に同じメニュー名のメニューや「メニュー定義一覧」メニューの項番が同じメニューが存在する場合、上書きでメニューが作成され、入力済みのデータは削除されます。入力済みのデータが必要な場合は、「キャンセル」を選択して、データをバックアップしてください。

OK キャンセル

メニュー作成

説明

メニュー作成

全てチェック

sampleA

メニュー作成開始

メニュー作成

説明

メニュー作成

メニュー作成を受けました。

項番:[04]

メニュー作成開始

図 8.14-7

- ⑦ 「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー作成履歴」メニューの「作成したメニュー」ボタンから「入力用」メニューグループに遷移し、正常に「sampleA」が作成されたか確認をしてください。



「メニュー作成」メニューグループ>「メニュー作成履歴」メニューの「作成したメニュー」ボタンを押下。

「入力用」メニューグループに遷移し、今回作成した「sampleA」を確認。



「入力用」メニューグループでの登録例



代入順序	パラメータ			
	dataA		項目3	項目4
	項目1	項目2		
1	hostA	hostB	hostC	hostD
2	hostAA	hostBB	hostCC	hostDD

図 8.14-8